



R2L ユーザーマニュアル

リリース v1.0.0

2026-06-27

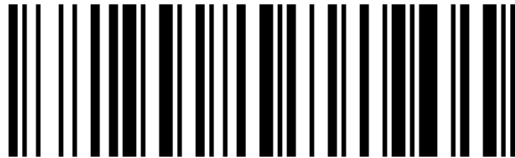
目次

1 システム設定	4
1.1 ファームウェアバージョンの読み取り	4
1.2 工場出荷時設定にリセット	4
1.3 作業モード	5
2 電源管理	6
2.1 睡眠時間を読む	6
2.2 睡眠時間を設定する	6
2.3 コード読み取りデバイスのバッテリー残量を取得する	8
3 情報プロンプト	8
3.1 ブザー制御	8
3.2 振動モーター制御	9
3.3 ブザー音の定義	10
3.4 インジケータライトの定義	10
4 有線モード	11
4.1 USB 送信方法	11
4.2 USB キーボードの送信速度	12
4.3 USB HID マルチキー送信設定	13
5 ワイヤレスモード	13
5.1 インターフェイス設定の読み取り	13
5.2 無線伝送方式	14
5.3 2.4G ペアリング	14
5.4 受信機の動作モード	14
5.5 2.4G 送信キャッシュ	16
6 藍牙モード	17
6.1 インターフェイス設定の読み取り	17
6.2 藍牙送信方法	17
6.3 藍牙動作モード	18
6.4 藍牙名の変更	18
6.5 藍牙 HID ペアリングをクリアする	19
6.6 システムキーボードの機能	19
6.7 藍牙と 2.4G を 8 秒間押し続けると切り替わります。	20
6.8 藍牙キーボードの送信速度	20
6.9 藍牙接続ステータスがスリープ設定にならない	21
7 キーボード設定	22
7.1 HID Keyboard General Setting	22
7.2 キーボードの言語設定	29
8 キーボード言語	29
8.1 現在のキーボードレイアウトを読み取る	29
9 データ編集	35
9.1 標準データ編集設定	35
9.2 拡張データ編集設定	42
9.3 端末文字設定	44

9.4 GS1 AI フィールドブラケット設定	45
10 読書モード	46
10.1 バーコードデコード読み取りモード	46
11 MOD の設定	48
11.1 トリガー設定	48
11.2 エンジン Code ID	57
11.3 エンジン出力フォーマット	60
11.4 バーコード設定	63
11.5 エンジンセッティングコード	118
12 付録	120
12.1 文字検索テーブル	120

1 システム設定

1.1 ファームウェアバージョンの読み取り



ファームウェアバージョンの読み取り

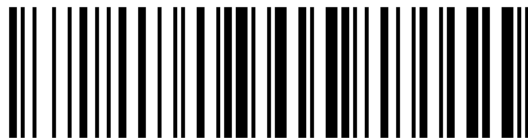
1.2 工場出荷時設定にリセット

注釈

「カスタムデフォルトの書き込み」が実行されている場合、「デフォルトの復元」はそれらのカスタムデフォルトを復元します。それ以外の場合は、工場出荷時のデフォルト値が復元されます。

重要

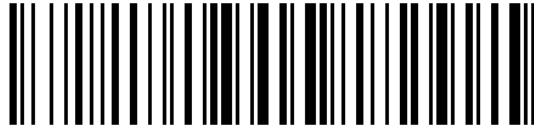
「工場出荷時のデフォルトに設定」は、すべてのカスタムデフォルトをクリアし、工場出荷時のデフォルトに戻します。



カスタムデフォルトを復元する



カスタムのデフォルト値を書き込む



工場出荷時のデフォルトを設定する

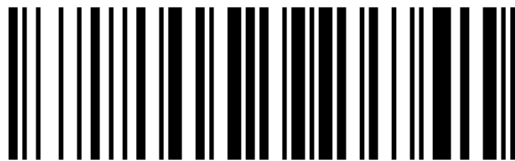
1.3 作業モード

i 注釈

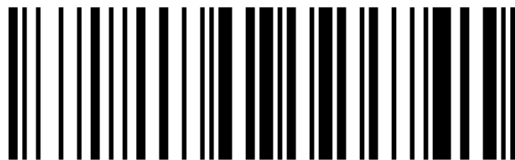
データのアップロードプロセス中に、「データアップロード」コマンドを再度スキャンすると、現在のアップロードはキャンセルまたは停止されます。

i 注釈

無線送信モードで自動保存を有効にすると、送信に失敗したバーコードが自動的に保存され、保存されたデータは「データアップロード」で読み込むことができます。



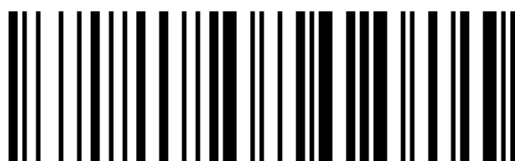
* 通常モード



ストレージモード



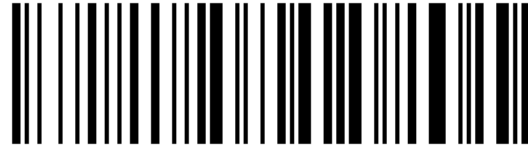
ストレージデータのアップロード



保存されているバーコードの総数を読み取ります



アップロード後にストレージデータをクリアする



ストレージスペースの使用状況を読み取る



保存されたバーコードをクリアする



* 自動ストレージモードが無効になっています



自動ストレージモードが有効になっています

2 電源管理

2.1 睡眠時間を読む



睡眠時間を読む

2.2 睡眠時間を設定する



今すぐ冬眠します



1 分後に寝る



3 分後にスリープ (デフォルト)



5 分後に寝る



10 分後に寝る



30 分後に寝る



1 時間後に寝る

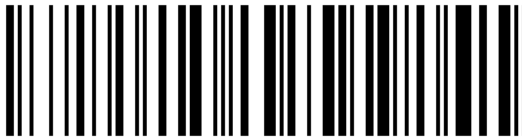


2 時間後に寝る



決して眠らないでください

2.3 コード読み取りデバイスのバッテリー残量を取得する



バッテリー残量を取得する

3 情報プロンプト

3.1 ブザー制御



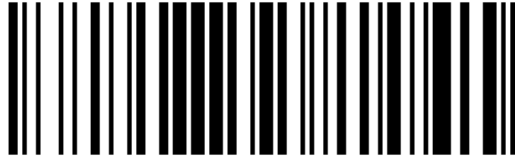
ミュート



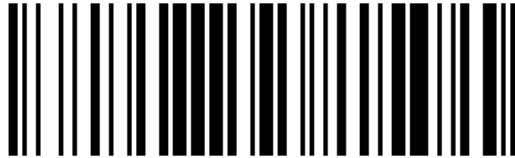
* 大音量



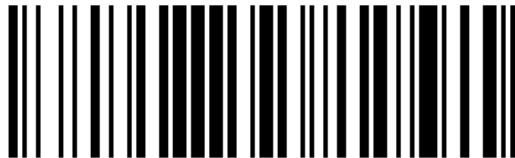
中程度の音量



小さい音量



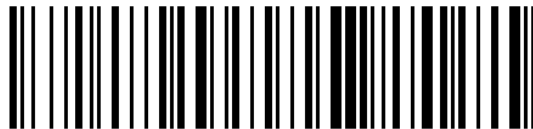
* 高音



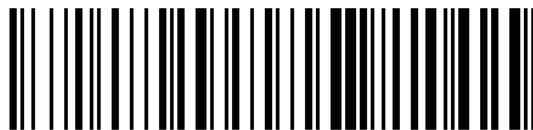
低音



* SDK 音声応答が無効になっています



SDK 音声応答の有効化

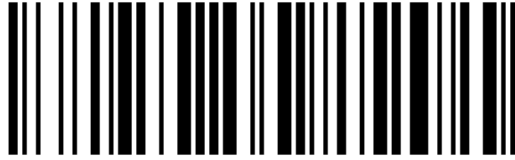


ベース接続ブザープロンプトスイッチ

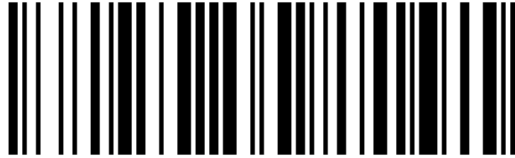
3.2 振動モーター制御

注釈

振動モーターはビープ音とともに動作しますが、すべてのモデルがこの機能をサポートしているわけではありません。



無効にする



有効にする

3.3 ブザー音の定義

タイプ	音	意味	音声ファイル
ビープ	ワントーン（ツートーン）	ストレージモードの読み取り。シャットダウンプロンプト。	storage-mode.m4a、shutdown.m4a
ビープ	1 音（3 音）	電源投入時のプロンプト。設定は成功しました。アップロードモード転送完了プロンプト。	startup.m4a、wireless-setting.m4a
ビープ	短い音（同じ音）	バーコード読み取り成功プロンプト。	one-beeps.m4a
ビープ	30 秒間の連続した短いトーン	2.4G ペアリングモードは、レシーバーが挿入されるのを待ちます。ペアリングが成功すると停止します。	pair2.4G.m4a
アラーム音	2 トーン（同トーン）	読み取り中の電力不足アラーム。	two-beeps.m4a
アラーム音	3 音（同音）	インベントリモードストレージエラーまたはストレージ容量超過アラーム。	three-beeps.m4a
アラーム音	送信失敗音	バーコードの送信が失敗した場合にアラームを鳴らします。	まだ音声がありません
アラーム音	5 音（同音）	バッテリー残量が少ないと起動障害が発生します。	five-beeps.m4a

3.4 インジケータライトの定義

インジケータライト	州
赤信号/緑信号	充電中は赤色のライトが点灯し、緑色のライトが消灯します。完全に充電されると、赤色のライトが消え、緑色のライトが点灯します。
ブルーライト	ブザー動作に続き、ブザーが鳴ると点灯、鳴らないと消灯します。蓝牙モードをサポートするモデルは、蓝牙接続ステータスを示すためにも使用されます。

4 有線モード

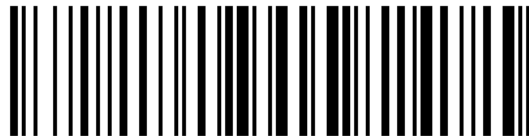
注釈

有線伝送をサポートするコード読み取りデバイスにのみ適用されます。

4.1 USB 送信方法



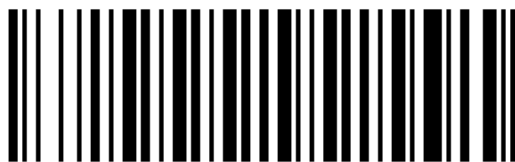
* USB キーボードモード



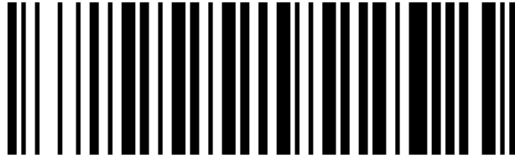
USB 仮想串口モード

注釈

自動インターフェイス選択を有効にすると、デバイスは有線と無線の間で自動的に切り替わります。USB ケーブルが接続されている場合、有線モードが最初に使用されます。USB ケーブルが接続されていない場合、または USB が利用できない場合、コード読み取りデバイスは 2.4G モードで動作します。一部のモデルではこの機能をサポートしていない場合があります。



* 有線/無線自動選択が有効です

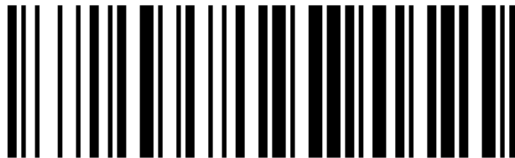


有線/無線自動選択無効

4.2 USB キーボードの送信速度

注釈

この設定は、RF、超長いバーコードの藍牙送信、およびストレージデータのアップロードの速度にも影響します。



* 最高速度



トップスピード



中速



中速



キーボードの読み取り速度



キーボードの読み取り速度

4.3 USB HID マルチキー送信設定

i 注釈

このセクションの設定は、Windows システムにのみ適用されます。



USB HID マルチキー送信有効



* USB HID マルチキー送信は無効です

5 ワイヤレスモード

i 注釈

2.4G 送信をサポートするコード読み取りデバイスにのみ適用されます。

5.1 インターフェイス設定の読み取り

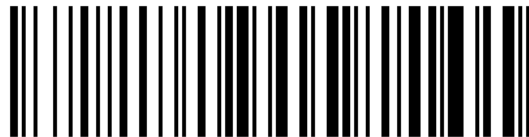


現在のインターフェース設定

5.2 無線伝送方式

注釈

青いライトは常に点灯または点滅し、現在のモードが藍牙であることを示します。青いライトが消えている場合は、現在のモードが 2.4G モードまたは USB 有線モードであることを示します。

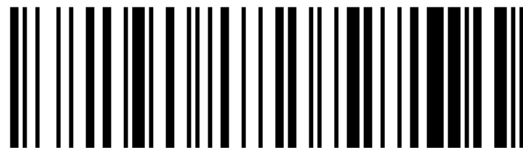


2.4G 送信モード

5.3 2.4G ペアリング

重要

ワイヤレス 2.4G モードでのみ有効です。



2.4G ペアリングを開始します



1 対 1 のペアリング



1 対 1 のペアリング

5.4 受信機の動作モード

注釈

コンポジットデバイスモードは、FWVerL 以降の受信機でのみ使用できます。
ReceiverAddress.exe を使用してペアリングバーコードを生成し、それをスキャンしてペアリングを完了することもできます。



複合デバイスとしての受信機



仮想シリアルポートとしてのレシーバー

注釈

このモードでは、仮想シリアルポートドライバをインストールする必要があります。



キーボードとしての受信機

受信機キーボードの通信速度

注釈

このセクションの手順は、FWVerL 以降の受信機にのみ適用されます。コード読み取りデバイスと受信機の送信速度が一致している必要があります。一致しないと、長いバーコードを送信するときにエラーが発生する可能性があります。

重要

このコマンドはワイヤレス 2.4G モードでのみ有効で、受信機は正常に接続されています。



キーボードの読み取り速度

i 例

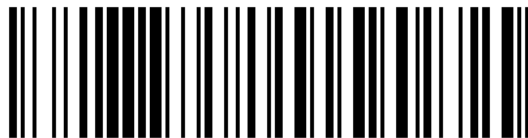
KB SP=2,4 は、USB のキーボード速度が 2ms、受信機のキーボード速度が 4ms であることを意味します。



レシーバーキーボード高速



レシーバーキーボード中速



レシーバーキーボード低速

i 注釈

無線 2.4G モードでのみ有効で、受信側は正常に受信します。

5.5 2.4G 送信キャッシュ

i 注釈

このコマンドは、この機能をサポートする一部のコード読み取りデバイスにのみ適用されます。設定コードをスキャンした後、2 回の短いビープ音が無効を示し、1 回の 3 音ビープ音が有効を示します。

通常のバーコードをスキャンする場合、バーコードのデータ量が多くスキャン間隔が短く、データのアップロードが間に合わない場合に、この設定コードを使用してデータのキャッシュを有効または無効にすることができます。



SRAM キャッシュスイッチ

通常モードでは、データキャッシュを有効にした後、デバイスが一時的に通信距離を離れてオフライン状態になった場合、この設定を使用して、キャッシュされたデータをアップロードする前に接続を待つか、キャッシュされたデータをクリアするかを選択できます。



オフラインキャッシュスイッチ

6 藍牙モード

注釈

藍牙機能を備えた RF+BT コード読み取り装置にのみ適用されます。

6.1 インターフェイス設定の読み取り



現在のインターフェース設定

6.2 藍牙送信方法

注釈

青いライトは常に点灯または点滅し、現在のモードが藍牙であることを示します。青いライトが消えている場合は、現在のモードが 2.4G モードまたは USB 有線モードであることを示します。



藍牙送信

6.3 藍牙動作モード

i 注釈

藍牙モードでのみ有効です。

i 注釈

藍牙動作モードを切り替える前に、ホストとコード読み取りデバイスの両端のペアリング情報をクリアする必要があります。



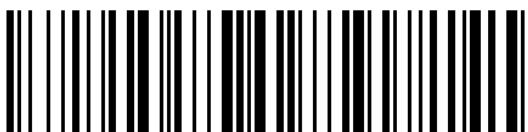
藍牙 HID キーボード (デフォルト)



藍牙 SPP シリアルポート



藍牙 BLE シリアルポート



藍牙基本送信モード

i 注釈

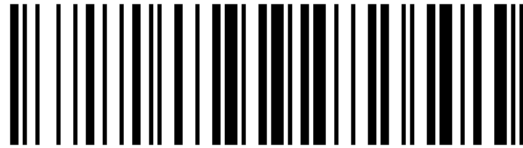
すでにペアリングされている藍牙ベースとのペアリングに適しています。ベースのバーコードが破損している場合は、小さなツール BluetoothAddress.exe を使用してペアリングバーコードを生成することもできます。

6.4 藍牙名の変更

新しい藍牙名を入力したら、生成された QR コードをスキャンして設定を完了します。ホストが変更後に古いペアリング記録を保存している場合は、まず古いペアリングを削除して、接続を再度検索してください。

6.5 藍牙 HID ペアリングをクリアする

藍牙送信モードで「ペアリングのクリア」をスキャンした後、コード読み取りデバイスは現在ペアリングされているデバイスを切断し、ペアリングリストをクリアしてから、新しいデバイスのペアリングを待ちます。過去にペアリングしたデバイスを削除し、再度ペアリングする必要があります。



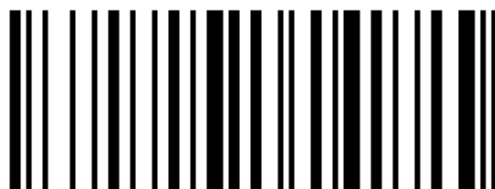
藍牙ペアリングをクリアする

6.6 システムキーボードの機能

iOS システムのポップアップキーボード機能



iOS キーボードのポップアップ/非表示



トリガーボタンを 4 秒間長押しすると、iOS キーボードスイッチがポップアップします。



トリガーボタンをダブルクリックして、iOS キーボードスイッチをポップアップ表示します。



送信後に iOS キーボードスイッチをポップアップ表示する

Windows Caps Lock の検出

i 注釈

このコマンドは、一部の藍牙コード読み取りデバイスにのみ適用されます。設定コードをスキャンした後、2 回の短いビープ音が無効を示し、1 回の 3 音ビープ音が有効を示します。



Windows Caps Lock 検出スイッチ

6.7 藍牙と 2.4G を 8 秒間押し続けると切り替わります。

i 注釈

このコマンドは一部の RF+BT コード読み取りデバイス (DS、C、RT) にのみ適用されます。有効にした後、トリガーボタンを 8 秒以上押し続け、放すと RF/BT が切り替わります。16 秒以上押し続けると、コード読み取り装置がシャットダウンし、モードは切り替わりません。設定コードをスキャンした後、2 回の短いビープ音が無効を示し、1 回の 3 音ビープ音が有効を示します。



トリガーボタンを 8 秒間押し続けると、RF/BT スイッチが切り替わります。

6.8 藍牙キーボードの送信速度

i 注釈

藍牙モードでのみ有効です。



藍牙 HID 遅延の読み取り



高速 (2ms)



高速 (6ms)



* 中速 (10 ミリ秒)



中速 (18ms)



低速 (25ms)



低速 (30ms)

6.9 藍牙接続ステータスがスリープ設定にならない

注釈

設定コードをスキャンした後、2 回の短いビープ音が無効を示し、1 回の 3 音ビープ音が有効を示します。



藍牙接続ステータス非スリープスイッチ

7 キーボード設定

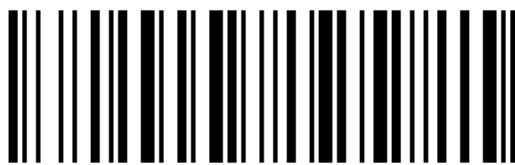
7.1 HID Keyboard General Setting

HID 共通設定

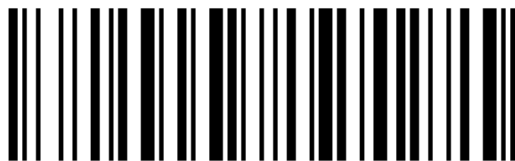
注釈

このセクションの一般的な HID モード設定は、USB キーボード、RF2.4G キーボード、BT HID キーボードに適用されます。

Ctrl キーの組み合わせの設定



* 結合キーオフ



Ctrl+ Key Config1



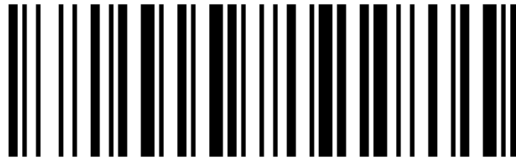
Alt+ Key Config2



Normal-Key Config3



Ctrl+ Key Config4



Alt+ Key Config5

i 注釈

only for ASCII <0x20 chars, Alt+ key only for Windows system.

ケースの設定



普通



スワップケース



すべて大文字



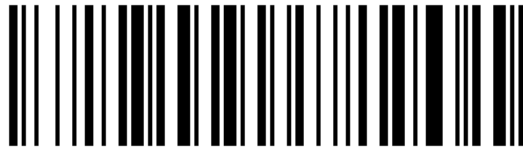
すべて小文字

※ キーボード言語を ALT、TH に設定した場合、大文字と小文字の設定は適用されません。

Num Lock の設定



Num Lock が無効になりました



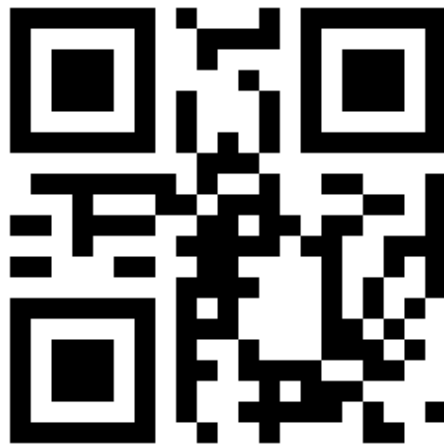
Num Lock が有効になりました

※ 受信端末が携帯電話の場合、Num Lock の設定をオフにしておかないと番号が表示されません。

文字セット設定を入力します

i 注釈

この設定は、特定のモジュールの 2D コード読み取りデバイスにのみ適用され、2D モジュールの出力文字セットと一致します。



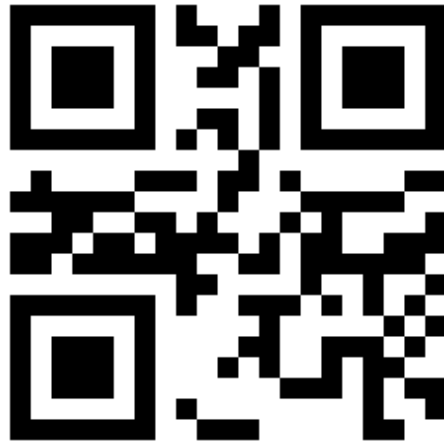
現在の文字セット設定を読み取る



自動



GBK / BIG5 / HANGUL / SJIS



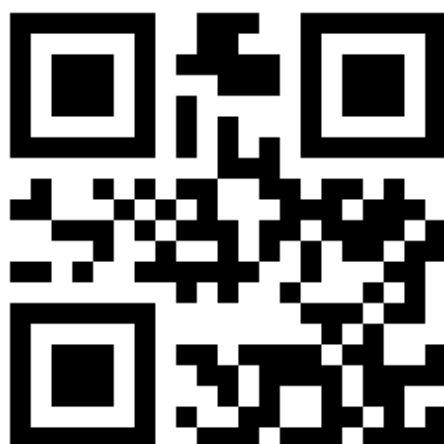
ISO/IEC 8859



UTF8 (ワード)



UTF8 (送信)



ノーマルモード

例証します:

モデル	該当するシナリオ	コード読み取りモジュールの出力文字セット	限界
Auto	入力文字セットを UTF8 または ISO/IEC 8859 として自動的に選択します。Word または Txt 出力は、最後の UTF8 設定に基づいています。	プリミティブ型	なし
GBK	Windows のメモ帳、Excel の中国語入力。	GBK (GB2312) またはオリジナルのタイプ	Windows システムのみに適用されます。
UTF8 (Word)	Word、QQ 中国語入力。	UTF8 またはプリミティブ型	Windows システムのみに適用されます。
ISO/IEC 8859	ヨーロッパのシングルバイト特殊文字 (>= C0H)。FR、GE、TR、PT、ES、CS、IT、UK、HU、SK に適しています。	プリミティブ型	リストにない言語はカスタマイズで追加する必要があります。
UTF8 (Txt)	Windows のメモ帳で特殊文字を入力するには、Unicode プラグインをインストールする必要があります。	UTF8 またはプリミティブ型	Windows システムのみに適用されます。
Normal	FR、GE、TR、PT、ES、CS、IT、UK、HU、SK キーボードの文字に適した多言語特殊文字。	UTF8 またはプリミティブ型	リストにない言語はカスタマイズで追加する必要があります。

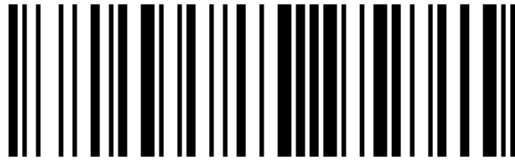
受信デバイスの選択

注釈

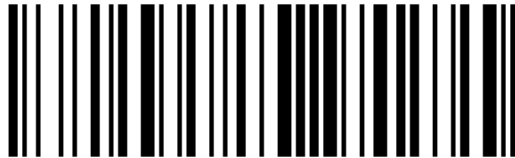
このセクションは、さまざまな受信デバイスが ASCII 文字 (0x20 から 0x7F) を入力する方法を設定するために使用され、[鍵盤言語設定](#) と組み合わせて使用 する必要があります。



現在の受信デバイス設定を読み取る



Windows デバイス



iPhone/iPad/Mac デバイス



Android デバイス

*IOS/MAC デバイスは現在有効です: FR、DE、TR、PT、ES、CS、IT、UK、HU、SK。ドキュメント「バーコードスキャナー用の MAC iPhone iPad キーボードレイアウト.docx」を参照してください。

※Android 端末には Google Gboard 入力方式を一律にインストールすることを推奨します。「バーコードスキャナー用 Android デバイスのキーボードレイアウト.docx」ドキュメントを参照してください。

7.2 キーボードの言語設定

➡ 参考

キーボード言語設定は別のページ (鍵盤语言设置) に分割されました。

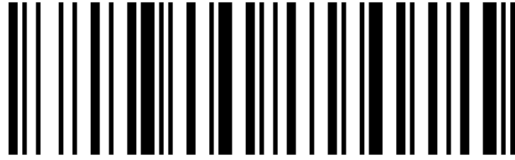
8 キーボード言語

8.1 現在のキーボードレイアウトを読み取る



現在のキーボードレイアウトを読み取る

L1 *ENUSA アメリカ EN キー



* 米国英語キーボード

L2 FR フランスフランス語キー



フランス語フランス語キーボード

L3 DE ドイツドイツキー



ドイツ語ドイツ語キーボード

L4 ITItaly イタリアキー



イタリア語キーボード

L5 PT ポルトガルキー



ポルトガル語キーボード

L6 ES スペインスペインキー



スペイン語キーボード

L7 TR トウルキエトルコキー



トルコ語 Q キーボード



トルコ語 F キーボード

L8 ENUK 英国キー

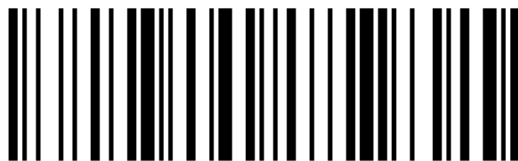


イギリス英語キーボード

L9 CS チェコ語チェコ語キー



チェコ語キーボード



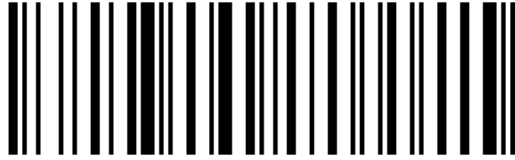
チェコ語の標準キーボード

L10 HU ハンガリーハンガリーキー



ハンガリー語キーボード

L11 FR ベルギー (フランス語) ベルギー FR キー



ベルギーフランス語キーボード

L12 PT ブラジル (ポルトガル語) ブラジル PT キー



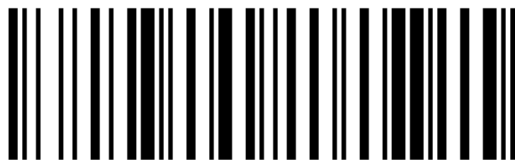
ブラジル系ポルトガル語キーボード

L13 FR カナダ語フランス語 (繁体字) カナダ語 FR キー



カナダフランス語 (繁体字) キーボード

L14 HR クロアチアキー



クロアチア語キーボード

L15 SK スロバキアスロバキアキー



スロバキア語 QWERTY キーボード



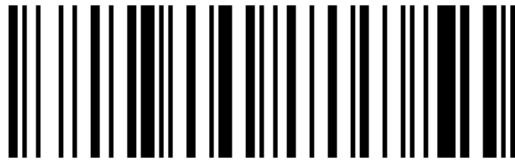
スロバキア語キーボード

L16 DA デンマークデンマークキー



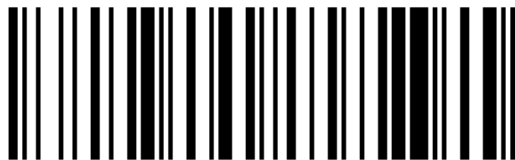
デンマーク語キーボード

L17 FINLAND キー



フィンランド語キーボード

L18 ES ラテンアメリカ (スペイン語) ラテンアメリカ ES キー



ラテンアメリカスペイン語キーボード

L19 NL オランダオランダキー



オランダ語キーボード

L20 ノルウェーノルウェーキー



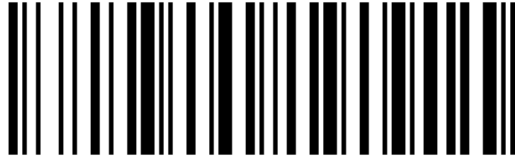
ノルウェー語キーボード

L21 PL ポーランドポーランドキー



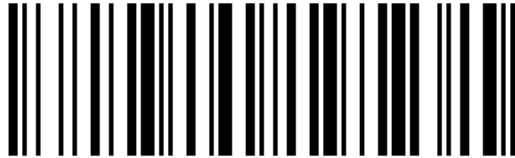
ポーランド語キーボード

L22 SR セルビア (ラテン) セルビアキー



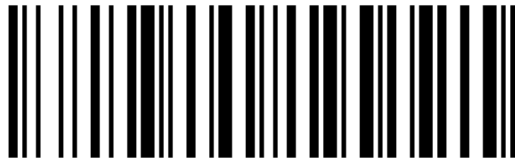
セルビア語ラテン語キーボード

L23 SL スロベニアキー



スロベニア語キーボード

L24 SVSweden スウェーデンキー



スウェーデン語キーボード

L25 DE スイス (ドイツ語) スイス DE キー



スイスドイツ語キーボード

L26 JP 日本語日本語キー

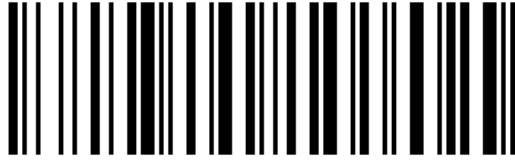


日本語キーボード

L27 TH タイタイキー

注釈

タイ語キーボードを使用する場合、コード読み取りモジュールも TH 出力に設定する必要があります。



タイ語キーボード

🔄 参考

参照ファイル: RF2.4G、藍牙設置 _ 中文、泰語、韓国.docx。

L28 ALT インターナショナルキーボード ALT グローバルキー

i 注釈

ALT インターナショナルキーボードは Windows システムにのみ適用され、ホストのキーボード設定の影響を受けませんが、転送速度が低下します。



ALT インターナショナルキーボード

L29 ALT シングルバイト特殊キーボード ALT シングルバイト特殊キー



ALT 半角特殊文字キーボード

i 注釈

このセクションに記載されていない言語をサポートするにはカスタマイズする必要があります。

9 データ編集

9.1 標準データ編集設定

このセクションでは、設定コードを使用して、プレフィックス、サフィックス、非表示文字などの一般的な出力ルールを設定する方法を説明します。

プレフィックス、サフィックス、隠し文字の設定

最大 10 個のプレフィックスまたは 10 個のサフィックスを出力データに追加できます。設定する場合は、ASCII 値に対応する 2 桁の 16 進数の設定コード (つまり 2 つのバーコード) をスキャンしてください。

➡ 参考

文字値については、[ASCII ファンクションキー文字比較表](#) および [ASCII 文字比較表](#) を参照してください。値の入力が必要なパラメータについては、[デジタル設定コード](#) をスキャンしてください。具体的な手順については、「[プレフィックスまたはサフィックスの追加ステップ](#)」を参照してください。

バーコードの最初、中間、または最後の文字を非表示にするように設定できます。対応する非表示設定コードをスキャンした後、非表示にする文字の長さに対応する 2 桁の 16 進数の設定コードをスキャンします (00 ~ FF、たとえば 4 文字を非表示にする場合は、0、4 を順にスキャンします)。

➡ 参考

文字を非表示にするプロセスについては、[バーコードの最初/中間/末尾の文字を非表示にする手順](#) を参照してください。

オペコード



プレフィックスを追加する



接尾語を追加



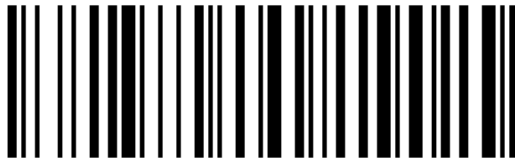
すべてのプレフィックスをクリアする



すべてのサフィックスをクリア



最初のバーコードの文字数を非表示にする



バーコード中央の開始桁を非表示にします



バーコードの途中の文字数を非表示にする



バーコードの末尾の文字数を非表示にする

デジタル設定コード

指定値が必要なパラメータについては、対応するデジタル設定コードをスキャンしてください。



デジタル設定コード 0



デジタル設定コード 1



デジタル設定コード 2



デジタル設定コード 3



デジタル設定コード 4



デジタル設定コード 5



デジタル設定コード 6



数値セットアップコード 7



デジタル設定コード 8



数値セットアップコード 9



デジタル設定コード A



デジタル設定コード B



デジタル設定コード C



デジタル設定コード D



デジタル設定コード E



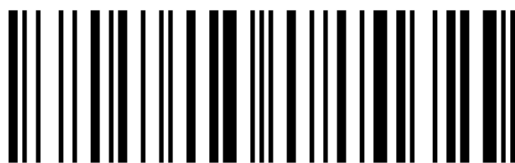
デジタル設定コード F

出力形式の設定

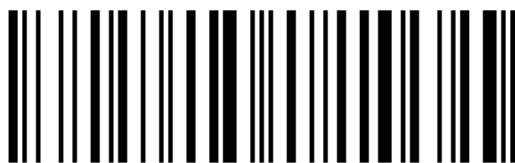
出力データ形式を変更する必要がある場合は、以下の対応する設定コードをスキャンしてください。



デフォルトの出力形式



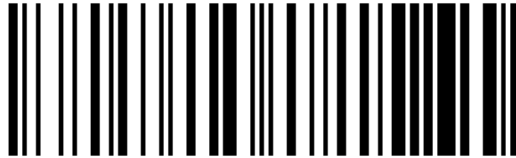
出力サフィックスを許可する



出力プレフィックスを許可する



バーコードヘッダーコンテンツを非表示にすることができます



バーコードの中央のコンテンツを非表示にすることができます



バーコード末尾のコンテンツを非表示にすることができます

手順例

プレフィックスまたはサフィックスの追加ステップ

1. プレフィックスとサフィックスの出力が有効になっていない場合は、まず対応する出力フォーマットコードをスキャンしてください。
2. 新しい文字は既存のサフィックスに追加されます。元のサフィックスを破棄したい場合は、「すべてのプレフィックス/サフィックスをクリア」をスキャンしてリセットしてください。
3. 「プレフィックスの追加」または「サフィックスの追加」設定コードをスキャンします。
4. [ASCII ファンクションキー文字比較表](#) または [ASCII 文字比較表](#) に基づいて、入力するプレフィックスまたはサフィックスに対応する 16 進値を決定します。
5. 対応する 2 桁の 16 進数設定コードをスキャンします。
6. 文字を追加し続ける場合は、手順 4 と 5 を繰り返します。

例

プレフィックスとして **Ctrl+A** を追加する必要がある場合は、「プレフィックスの追加」「9」「7」「4」「1」を順にスキャンします。

例

Ctrl+Alt+A をサフィックスとして追加する必要がある場合は、「サフィックスの追加」「9」「7」「9」「9」「4」「1」を順にスキャンします。

バーコードの最初/中間/末尾の文字を非表示にする手順

1. バーコードのヘッダー、中間の開始ビット、中間の長さ、または末尾の文字を非表示にする設定コードをスキャンします。
2. 非表示にする文字の長さに対応する 16 進値を決定します (たとえば、4 文字を非表示にする場合は、0、4 をスキャンします。12 文字を非表示にする場合は、0、C をスキャンします)。
3. 対応する 2 桁の 16 進数設定コードをスキャンします。
4. 出力書式設定コードを通じて隠し文字機能を有効または無効にします。

9.2 拡張データ編集設定

このセクションでは、完全なコマンドからデータ編集設定コードを一度に生成できます。一括設定、リモートでのシリアルコマンド送信、または文字置換が必要な場合に適しています。

ワンコード設定オンライン生成ツール

注釈

オンライン生成ツールは HTML マニュアルでのみ表示されます。設定コードを生成した後、生成されたバーコードを直接スキャンして設定を完了できます。また、下記のコマンド形式でシリアルコマンドとして送信することもできます。

プレフィックスを追加する

接尾語を追加

バーコード先頭文字を非表示

バーコード中央文字を非表示

バーコード末尾文字を非表示

文字置換

ワンコード設定コマンド形式

編集形式:

```
$DATA#ncllxx#
```

n

1 サフィックス。2 プレフィックス。3 は、バーコードの末尾の内容を非表示にします。4 は、バーコードの中央のコンテンツを非表示にします。5 は、バーコードの最初のコンテンツを非表示にします。7 は文字を置き換えます。

c

Code ID は、現在、すべてのコードシステムを示す 0 のみをサポートしています。

ll

長さ、16 進値: 接頭辞と接尾辞 01~0A、01~FF を非表示、01~05 を置き換えます。

XX

ASCII 値。16 進数は、\x に 2 文字を加えたもので表現でき、文字の範囲は 0~9、A~F です。

表 1: ワンコード設定例

注文	意味
\$DATA#1005abcd\x03#	0x05 サフィックスを追加します: abcd + 0x03。
\$DATA#200ANETUM12345#	0x0A プレフィックス NETUM12345 を追加します。
\$DATA#3008#	バーコードの末尾にある 0x08 文字を非表示にします。
\$DATA#40050A#	バーコード内の 0x05 文字の後の 0x0A 文字を非表示にします。
\$DATA#5011#	バーコードヘッダー 0x11 バイトを非表示にします。
\$DATA#7001\x1D02GS#	GS (0x1D) 文字を GS に置き換えます。
\$DATA#7002NT01Z#	NT を Z に置き換えます。

文字置換操作

形式: \$DATA#70 + 被替换字符长度 + 被替换字符 + 替换后数据长度 + 替换后数据 #

置換される文字と置換される文字の長さの合計は 6 以下で、1~6 文字が 5~0 文字に置換されることがサポートされます。



置換設定の読み取り



置換設定をクリアする

例

\$DATA#7001\x1D02GS# は、表示不可能な文字 GS (0x1D) を GS に置き換えて表示することを意味します。



文字置換操作: GS からテキスト GS へ

例

\$DATA#7001\x0A01\x0D# は、LF (0x0A) を CR (0x0D) に置き換えることを意味します。



文字置換操作: LF から CR

i 例

\$DATA#7006ABCDEF00# は、文字列 ABCDEF を何も置き換えない、つまり表示しないことを意味します。

9.3 端末文字設定

i 注釈

この終端文字は、デコードモジュールのサフィックスやワイヤレスサフィックスから独立しているため、デコードモジュールにサフィックスがない場合でも、迅速な設定が容易になります。



なし (デフォルト)



CR を入力してください



タブ文字 TAB



キャリッジリターンとラインフィード CRLF



改行 LF

9.4 GS1 AI フィールドブラケット設定

注釈

一部の AI フィールドのみが適用され、特別なバージョンのサポートが必要です。



生の形式 (デフォルト)



括弧を追加する



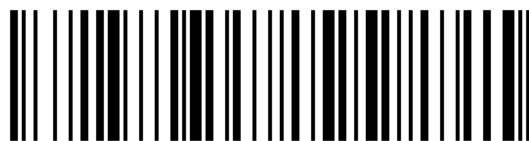
括弧を追加し、CR で区切ります。



括弧を追加し、TAB で区切ります

10 読書モード

10.1 バーコードデコード読み取りモード



キースキャンモード（デフォルト）



連続スキャンモード

i 注釈

連続スキャンモードは、連続高速スキャンシナリオに適しています。トリガーボタンを押して、開始または停止をトリガーします。



キーパルススキャンモード

i 注釈

キーレベルの変化を検出すると読み取りを開始し（約 30ms 保持）、再度キーレベルの変化を検出すると読み取りを終了します。読み取りが成功するかタイムアウトになると、読み取りは終了します。



ホストトリガーモード（一部のカスタマイズモデルにのみ適用）

i 注釈

ホストトリガーモードは一部のカスタマイズモデルにのみ適用されます。



バッチスキャンモード（一部のカスタマイズされたモデルにのみ適用可能）

デコードタイムアウト

このパラメータは、スキャン試行中にデコード処理が継続する最大時間を設定します。デフォルト: 3000ms、範囲: 0500 ~ 9999ms。



3 秒 (デフォルト)



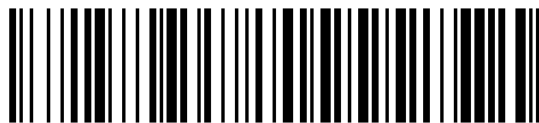
6 秒

インターバル時間

連続モードでの 2 つの読み取り間の間隔。デフォルト: 500ms、範囲: 0100 ～9999ms。



0.5 秒 (デフォルト)



1 秒

11 MOD の設定

11.1 トリガー設定

読書モード

一般的な読み取りモード

キーホールド

キーホールドモードに設定し、キーを押すと読み取りが開始され、キーを放すと読み取りが終了します。読み取りに成功するか、読み取り時間が 1 回の読み取り時間を超えると、読み取りは終了します。



キーホールド

シングルボタントリガー

シングルボタントリガーモードに設定します。ボタンを押して読み取りを開始します。ボタンを放しても読み取りは停止しません。読み取りが成功した場合、または読み取りが1回の読み取り時間を超えた場合、読み取りは停止します。



シングルボタントリガー

連続モード

設定完了後はトリガーする必要はありません。コード読み取りモジュールはすぐにコードの読み取りを開始します。読み取りが成功して情報が出力されるか、1回の読み取り時間が経過すると、読み取り間隔がタイムアウトした後、次の読み取り間隔が自動的に開始されます。



連続モード

オートセンシングモード

自動検知モードでは、コード読み取りモジュールが周囲の環境の明るさを検出します。明るさが変化すると、読み取りがトリガーされます。読み取りが成功するか、読み取り時間が1回の読み取り時間を超えて終了します。前回の読み取りが成功したか失敗したかに関係なく、周囲の環境の明るさを検出するために再入力します。



オートセンシングモード

感度

感度とは、センサー読み取りモードでシーンの変化を検出する度合いを指します。コード読み取りモジュールは、シーンの変化の程度が要件を満たしていると判断すると、監視状態から読み取り状態に切り替わります。



手ぶれ補正持続時間の設定

画像安定時間とは、シーンの変化を検出するコード読み取りモジュールが、センサー読み取りモードでコードを読み取る前に画像が安定するまで待機する必要がある時間を指します。手ぶれ補正時間の設定範囲は 0～65535ms、デフォルト値は 300ms です。

「安定化持続時間」設定コードをスキャンします。



手ぶれ補正時間

「デジタルセットアップコード」をスキャンします。たとえば、継続時間が 100ms の場合、1、0、0 をスキャンします。期間が 1005ms の場合、1、0、0、5 をスキャンします

「OK」設定コードを読み取って設定を終了します



もちろん

手ぶれ補正時間を素早く設定



コマンドトリガモード

コマンドを介してコード読み取りモジュールの読み取りをトリガーすることで、コマンドを介して読み取りをアクティブに終了できます。読み取りに成功するか、読み取り時間が1回の読み取り時間を超えると、読み取りは終了します。特定のトリガーコマンドについては、製品の説明書情報を参照してください。

注釈

トリガーおよび終了コマンドはどのモードでも有効です

特別な読み取りモード

画面高速モード

このモードは特殊なモードであり、一般版製品には適用されません。画面コードを迅速に認識する必要があるアプリケーションシナリオに適しています。必要な方は販売元にお問い合わせください。

高速コード読み取りモード

このモードは特殊なモードであり、汎用製品には適していません。さまざまな紙媒体のバーコードを迅速に読み取る必要があるアプリケーションシナリオに適しています。固定モジュール、コード読み取りプラットフォーム、その他の製品形式に適しています。必要なユーザーは供給元にお問い合わせください。

1 回の読書時間

1 回のコード読み取りの継続時間とは、読み取りをトリガーして正常に読み取ることができなかった後に許可される最長の読み取り試行時間を指します。この時間を超えると、読み取り状態が終了します。単一コード読み取り時間の範囲は 0 ～65535 ミリ秒、デフォルトは 5000 ミリ秒です。

一回の読み取り時間の設定

「1 回読み取り時間」設定コードをスキャンします



1 回の読書時間

「デジタルセットアップコード」をスキャンします。たとえば、継続時間が 100ms の場合、1、0、0 をスキャンします。期間が 1005ms の場合、1、0、0、5 をスキャンします

「OK」設定コードを読み取って設定を終了します



もちろん

1 回の読み取り時間を素早く設定

 0ms (無限時間)	 1000ms
 2000ms	 3000ms
 *5000 ミリ秒	 10000ms

同一コード読み取り間隔

連続モードおよび自動検知モードで同じバーコードが複数回読み取られるのを防ぐために、コード読み取りモジュールは同じバーコードの読み取りを一定時間遅らせるように要求できます。同一コード遅延とは、バーコードを読み取った後、一定時間内に同じバーコードの読み取りを拒否することを意味します。時間が経過した後にはのみ、読み取りと出力が可能になります。範囲は 0 ～ 65535 ミリ秒、デフォルトは 0 ミリ秒です。

同一コード読み取り間隔設定

「同一コード時間間隔」設定コードをスキャン



同一コード時間間隔

「デジタルセットアップコード」をスキャンします。たとえば、間隔が 100ms の場合、1、0、0 をスキャンします。間隔が 1005ms の場合、1、0、0、5 をスキャンします

「OK」設定コードを読み取って設定を終了します



もちろん

同一コード読み取り間隔のクイック設定

 * 0 ミリ秒	 100ms
 300ms	 500ms
 1000ms	 3000ms
 5000ms	 10000ms
 無限の遅延 (同じコードを読み取らない)	

読み取り間隔時間

連続モードでの 2 つの読み取り間の間隔。最後の読み取りが成功したか失敗したかに関係なく、この時間が経過すると自動的に次の読み取りに入ります。この設定は主に連続モードに適用されます

デフォルト: 500ms、範囲: 0 ～65535ms

読み取り間隔の設定

「読み取り間隔時間」設定コードを読み取ります。



読み取り間隔時間

「デジタルセットアップコード」をスキャンします。たとえば、間隔が 100ms の場合、1、0、0 をスキャンします。間隔が 1005ms の場合、1、0、0、5 をスキャンします

「OK」設定コードを読み取って設定を終了します



もちろん

読み取り間隔時間を素早く設定

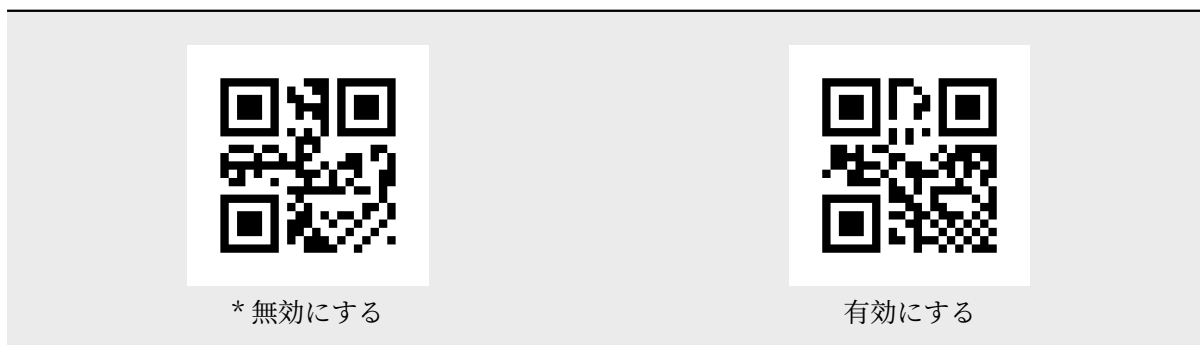


11.2 エンジン Code ID

バーコード ID

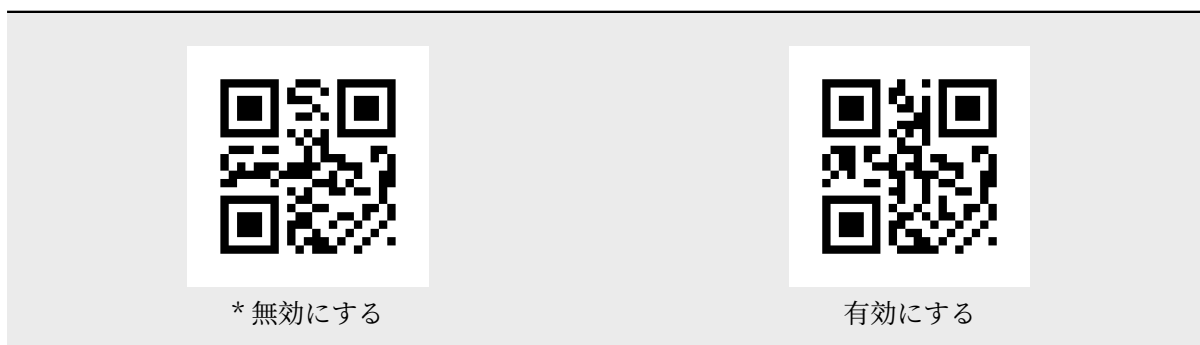
AIM ID

AIM は Automatic Identification Manufacturers (自動識別製造者協会) の略称です。AIM ID は、さまざまな標準バーコードの識別コードを定義します (ユーザーは AIM ID をカスタマイズできません)。特定の定義については、付録 C: AIM ID リストを参照してください。コード読み取りモジュールは、デコード後のバーコードデータの前にこの識別コードを追加できます。形式は「J」+ 文字「C」+ 数字「0」です。たとえば、Code 128 の AIM ID は「JC0」です。ユーザーは、AIM ID を通じてさまざまなバーコードタイプを識別できます。



Code ID

ユーザーは、Code ID を通じてさまざまなバーコードタイプを識別でき、Code ID は識別に 1 文字を使用します。具体的な定義については、付録 B を参照してください: Code ID リスト



Code ID

コード文字	バーコードの種類
C	Code 128/UCC/EAN-128/GS1-128
F	Code 39/Code 32
J	Code 11
B	Codabar
K	Code 93
E	EAN-13/EAN-8/ISBN/ISSN
U	UPC-A/UPC-E
I	ITF25
D	IND25
S	STD25
M	MATRIX25
N	NEC25/COOP25
P	MSI Plessey
T	TELEPEN
A	Pharmacode One-Track
W	TRIOPTIC
H	HONG KONG 2 of 5/CHINA POST
R	GS1 DataBar/RSS
q	QR Code/Micro QR

次のページに続く

表 2 - 前のページからの続き

コード文字	バーコードの種類
p	PDF417/MicroPDF417
d	Data Matrix (DM)
a	Aztec Code
h	Han Xin
m	MaxiCode
t	DotCode
g	GM
o	OCR
k	Codablock A
f	Codablock F
n	郵便番号
V	Korea Post

AIM ID

バーコードの種類	AIM ID	説明する
Code 128/UCC/EAN-128/GS1-128	]Cm	0,1,2,4
Code 39	] 午前	0,1,3,4,5,7
Code 32	]X0	
Code 11	] うーん	0,1,3
Codabar	]FM	0-1
Code 93	] ぐむ	0-9,A-Z,a-m
EAN-13	]E0	
EAN-8	]E4	
ISSN		
ISBN	]E0	
UPC-A	]E0	
UPC-E	]E0	
UPC-E1	]E1	
ITF25	] 私は	0,1,3
IND25	]S0	
STD25	] うーん	0,1,3
MATRIX25	]X0	
NEC25/COOP25	]X0	
MSI Plessey	] うーん	0,1
TELEPEN	]Bm	
Pharmacode One-Track		
TRIOPTIC		
QR Code	]Qm	0-6
Micro QR	]Qm	
PDF417	] うーん	0-2
MicroPDF417	] うーん	3,4,5
Data Matrix (DM)	]dm	0-6
Aztec Code	] zm	0-9,A-C
Han Xin	]X0	

次のページに続く

表 3 – 前のページからの続き

バーコードの種類	AIM ID	説明する
MaxiCode	] えーっと	0-3
DotCode	]X0	
GM	]X0	
Codablock A	]O6	0,1,4,5,6
Codablock F	] ああ	0,1,4,5,6
GS1 DataBar/RSS	]e0	
Korea Post	]X0	

11.3 エンジン出力フォーマット

ターミネーター

ホストが現在の読み取り結果を素早く区別できるように、エンドキャラクタ機能を有効にすることができ、コード読み取りモジュールはデータの出力後に対応するエンドキャラクタを追加します。



無効にする



キャリッジリターンとラインフィード



* 入力



タブ



入力してください

改行と復帰

改行 (\n) と復帰改行 (\r\n) は両方とも復帰 (\r) に変換されます。



* 無効にする



有効にする

URL スイッチ

商品のバーコード読み取り時や特殊なアプリケーションにおいて、URL 情報付きバーコードの誤読を防止するため、必要に応じて URL 情報付きバーコードの認識を無効にすることができます。



* URL コードを有効にする



URL コードを無効にする

請求書発行機能

このモジュールを請求書発行システムで正常に使用するために、ユーザーは以下の設定コードをスキャンすることで請求書コード形式を変換して出力することができます。

注釈

この機能は Alipay QR コード請求をサポートしていますが、WeChat QR コード請求はサポートしていません。

請求機能スイッチ



* 無効にする



有効にする

請求書の種類



* 特別チケット



人気投票

GS1 ルールが有効になりました

GS1 ルールを有効にし、AI セグメントをカッコで囲みます。



* 無効にする



有効にする

11.4 バーコード設定

バーコードのグローバル操作

グローバルスイッチ

	
無効にする	有効にする



* デフォルト

1次元コードグローバルスイッチ

	
無効にする	有効にする



* デフォルト

QRコードグローバルスイッチ



バーコードのセキュリティレベル

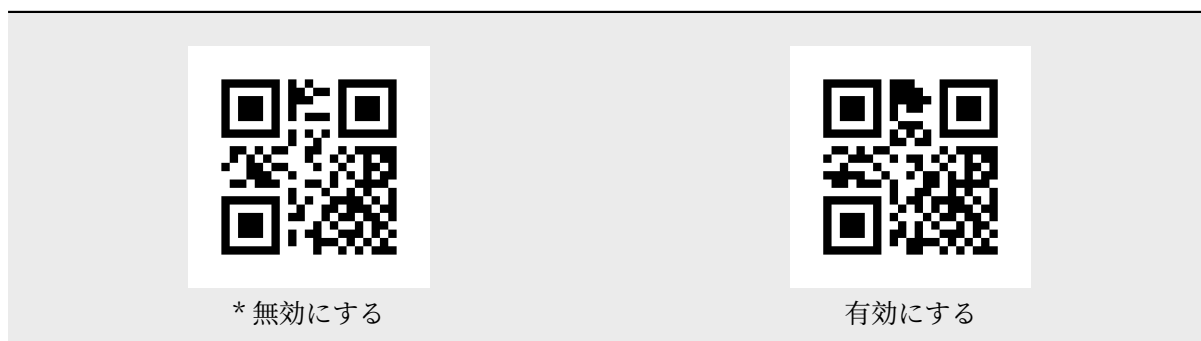
極端な状況下でのバーコード読み取りで起こり得るコードエラーの問題を解決するために、ここでは5つのセキュリティレベルが提供されています。レベルが高くなるほど、読書体験は悪化します。



マルチコード識別

特殊なアプリケーションシナリオでは、複数のバーコードを同時に読み取る必要があります。以下の設定コードを読み取ることで、マルチコード読み取りの有効/無効を切り替えます。

複数のコードを読み取る必要がある



複数のコードを読み取る



グローバル反転カラスイッチ

以下の設定コードを読み込むことで、バーコード反転読み取りの有効/無効を切り替えます。

注釈

グローバル反転カラスイッチは、読み取り機器のパフォーマンスに大きな影響を与えます。一般的に使用されるバーコードには、個別の反転カラスイッチがあります。個別にオンにすることをお勧めします。



部分的なカラー反転スイッチ

Code 128 逆色スイッチ

Code 128 バーコードの反転カラー読み取りを有効または無効にするには、次の設定コードを読み取ります。この設定は GS1-128 にも有効です



* 無効にする



有効にする

EAN/UPC 色反転スイッチ

以下の設定コードを読み込むことで、EAN/UPC バーコードの反転カラー読み取りを有効 / 無効にできます。



* 無効にする



有効にする

ITF25 反転カラスイッチ

以下の設定コードを読み込むと、ITF25 バーコードの反転カラー読み取りを有効/無効にできます。



* 無効にする



有効にする

Code 39 逆色スイッチ

Code 39 バーコードの反転カラー読み取りを有効または無効にするには、次の設定コードを読み取ります。



* 無効にする



有効にする

Codabar 反転カースイッチ

Codabar バーコードの反転カラー読み取りを有効または無効にするには、次の設定コードを読み取ります。



* 無効にする



有効にする

Code 93 逆色スイッチ

以下の設定コードを読み取って、Code 93 バーコードの反転カラー読み取りを有効または無効にします。



* 無効にする

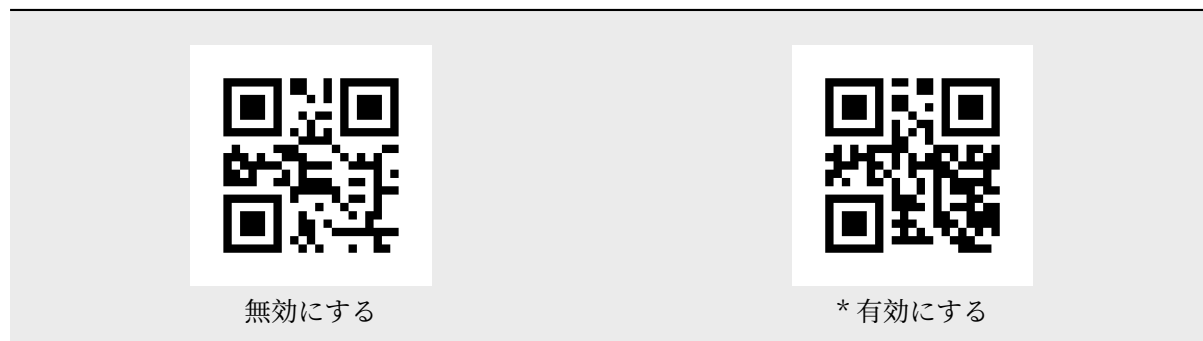


有効にする

Code 128

Code 128 スイッチ

以下の設定コードを読み取って、Code 128 バーコードの読み取りを有効/無効にします。



Code 128 最小長

Code 128 の最小長を設定するには2つの方法があります。方法1では、ユーザーがQRコードを生成する必要がありますが、これはより多くのユーザーが設定する傾向があり、より柔軟です。方法2では、手順に従って本書の設定コードを読み取ってください。

方法1:

Code 128 設定コードの内容の最小長の形式: >!000012XX。XX は 0 ~255 の 10 進数の設定変数です。

例: Code 128、最小長が 2 に設定されている場合、設定コードの内容は次のようになります: >!0000122。

例: Code 128、最小長が 12 に設定されている場合、設定コードの内容は次のようになります: >!00001212。

方法2:

「Code 128 最小長」設定コードをスキャンします。



Code 128 最小長

「デジタルセットアップコード」をスキャンします。たとえば、最小長が 2 桁の場合は 2 をスキャンします。最小長が 12 桁の場合は、1、2 をスキャンします

「OK」設定コードを読み取って設定を終了します



もちろん

Code 128 最大長

Code 128 の最大長を設定するには 2 つの方法があります。方法 1 では、ユーザーが QR コードを生成する必要がありますが、これはより多くのユーザーが設定する傾向があり、より柔軟です。方法 2 では、手順に従って本書の設定コードを読み取ってください。

方法 1:

Code 128 設定コードの内容の最大長の形式: >!000013XX。XX は設定変数で、10 進数の範囲は 0 ~ 255 です。

例: Code 128 最大長が 9 に設定されている場合、設定コードの内容は次のようになります: >!0000129。

例: Code 128 最大長が 20 に設定されている場合、設定コードの内容は次のようになります: >!00001220。

方法 2:

「Code 128 最大長」設定コードをスキャンします。



Code 128 最大長

「デジタルセットアップコード」をスキャンします。たとえば、最大長が 9 桁の場合は 9 をスキャンします。最大長が 20 桁の場合、2,0 をスキャンします

「OK」設定コードを読み取って設定を終了します



もちろん

Code 128 セキュリティレベル

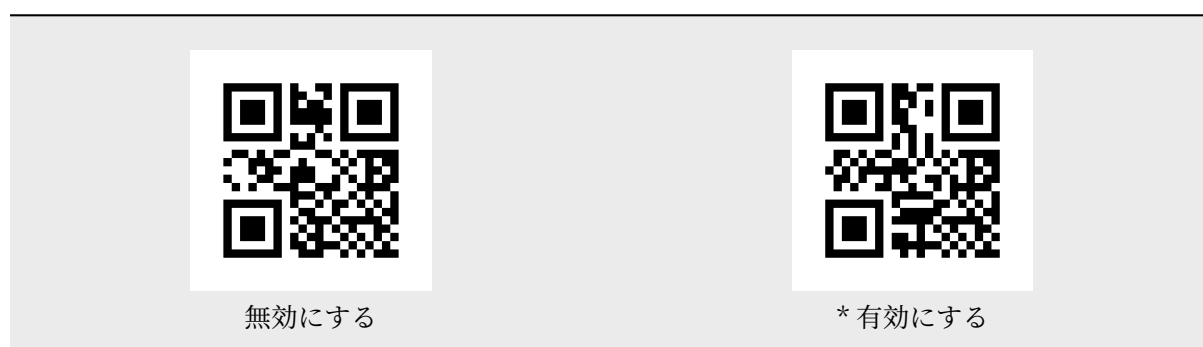
バーコードのセキュリティレベルが高いほどエラー率は低くなり、コード読み取り効果にもある程度の影響が出ます。



UCC/EAN-128/GS1-128

GS1 128 スイッチ

以下の設定コードを読み取って、GS1 128 バーコードの読み取りを有効/無効にします。



GS1 最小長 128

GS1 128 の最小長を設定するには 2 つの方法があります。最初の方法では、ユーザーが QR コードを生成する必要があります。この方法は、より多くのユーザーが設定する傾向があり、より柔軟です。2 番目の方法は、手順に従って本書の設定コードをスキャンします。

方法 1:

GS1 128 最小長設定コードの内容形式: >!000022XX。XX は設定変数で、10 進数の範囲は 0 ~255 です。

例: GS1 128 の最小長が 2 に設定されている場合、設定コードの内容は次のようになります:
>!0000222。

例: GS1 128 の最小長が 12 に設定されている場合、設定コードの内容は次のようになります:
>!00002212。

方法 2:

「GS1 128 最小長」設定コードをスキャンします。



GS1 最小長 128

「デジタルセットアップコード」をスキャンします。たとえば、最小長が 2 桁の場合は 2 をスキャンします。最小長が 12 桁の場合は、1、2 をスキャンします

「OK」設定コードを読み取って設定を終了します



もちろん

GS1 最大長 128

GS1 128 の最大長を設定するには 2 つの方法があります。方法 1 では、ユーザーが QR コードを生成する必要があります。この方法は、より多くのユーザーが設定する傾向があり、より柔軟です。方法 2 では、手順に従って本書の設定コードを読み取ってください。

方法 1:

GS1 128 設定コードの内容の最大長の形式: >!000023XX。XX は設定変数で、10 進数の範囲は 0 ~ 255 です。

例: GS1 128 の最大長が 9 に設定されている場合、設定コードの内容は次のようになります:
>!0000239。

例: GS1 128 の最大長が 20 に設定されている場合、設定コードの内容は次のようになります:
>!00002320。

方法 2:

「GS1 128 最大長」設定コードをスキャンします



GS1 最大長 128

「デジタルセットアップコード」をスキャンします。たとえば、最大長が9桁の場合は9をスキャンします。最大長が20桁の場合、2,0をスキャンします

「OK」設定コードを読み取って設定を終了します



もちろん

EAN-8

EAN-8 スイッチ

以下の設定コードを読み取って、EAN-8 バーコードの読み取りを有効/無効にします。



無効にする



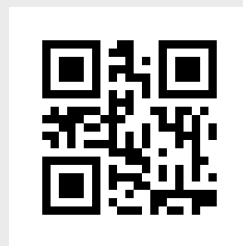
* 有効にする

EAN-8 チェックディジットの送信

以下の設定コードを読み出して、EAN-8 がチェックディジットを送信するかどうかを設定します。



無効にする



* 有効にする

EAN-8 2桁の追加コードを読み取ります

以下の設定コードを読み込んで、EAN-8 が 2 桁の追加コードを読み取れるかどうかを設定します。



* 無効にする



有効にする

EAN-8 5桁の追加コードを読み取ります

以下の設定コードを読み込んで、EAN-8 が 5 桁の追加コードを読み取れるかどうかを設定します。



* 無効にする



有効にする

追加コード EAN-8 による読み取り専用

追加コードで EAN-8 のみを読み取るかどうかを設定するには、次の設定コードを読み取ります



* 無効にする



有効にする

EAN-13

EAN-13 スイッチ

以下の設定コードを読み取って、EAN-13 バーコードの読み取りを有効/無効にします。



無効にする



* 有効にする

EAN-13 チェックディジットの送信

以下の設定コードを読み出して、EAN-13 がチェックディジットを送信するかどうかを設定します。



無効にする



* 有効にする

EAN-13 2桁の追加コードを読み取ります

以下の設定コードを読み込んで、EAN-13 が2桁の追加コードを読み取れるかどうかを設定します。



* 無効にする



有効にする

EAN-13 5桁の追加コードを読み取ります

以下の設定コードを読み込んで、EAN-13 が 5 桁の追加コードを読み取れるかどうかを設定します。



* 無効にする



有効にする

追加コード EAN-13 による読み取り専用

以下の設定コードを読み込み、追加コードで EAN-13 のみを読み込むかどうかを設定します。



* 無効にする



有効にする

ISSN

以下の設定コードを読み取って、ISSN バーコードの読み取りを有効または無効にします。

注釈

ISSN を無効にすると、ISSN は EAN-13 として扱われます



* 無効にする



有効にする

ISBN

以下の設定コードを読み取って、ISBN バーコードの読み取りを有効または無効にします。

注釈

ISBN を無効にすると、ISBN は EAN-13 として扱われます。



* 無効にする



有効にする

UPC-E

UPC-E スイッチ

以下の設定コードを読み取って、UPC-E バーコードの読み取りを有効/無効にします。



無効にする



* 有効にする

UPC-E チェックディジットの送信

以下の設定コードを読み出して、UPC-E がチェックディジットを送信するかどうかを設定します。



無効にする



* 有効にする

UPC-E 2桁の追加コードを読み取ります

以下の設定コードを読み込んで、UPC-E が2桁の追加コードを読み取れるかどうかを設定します。



* 無効にする



有効にする

UPC-E 5桁の追加コードを読み取ります

以下の設定コードを読み込んで、UPC-E が5桁の追加コードを読み取れるかどうかを設定します。



* 無効にする



有効にする

追加コード **UPC-E** による読み取り専用

以下の設定コードを読み込んで、追加コード UPC-E のみを読み込むかどうかを設定します。



* 無効にする



有効にする

伝送方式キャラクタ「0」

以下の設定コードを読み出して、UPC-E がシステムキャラクタ「0」を送信するかどうかを設定します。



無効にする



* 有効にする

UPC-E から UPC-A

以下の設定コードを読み込んで、UPC-E を UPC-A に変換するかどうかを設定します。



* 無効にする



有効にする

UPC-E1 スイッチ

以下の設定コードを読み出して、UPC-E1 を読み込むかどうかを設定します。



* 無効にする



有効にする

国文字「0」を送信

UPC-E が各国文字「0」を送信するかどうかを設定するには、以下の設定コードを読み出します。



* 無効にする



有効にする

UPC-A

UPC-A スイッチ

以下の設定コードを読み取って、UPC-A バーコードの読み取りを有効/無効にします。



無効にする



* 有効にする

UPC-A チェックディジットの送信

以下の設定コードを読み出して、UPC-A がチェックディジットを送信するかどうかを設定します。



無効にする



* 有効にする

UPC-A 2桁の追加コードを読み取ります

以下の設定コードを読み込んで、UPC-A が 2 桁の追加コードを読み取れるかどうかを設定します。



* 無効にする



有効にする

UPC-A 5桁の追加コードを読み取ります

以下の設定コードを読み込んで、UPC-A が 5 桁の追加コードを読み取れるかどうかを設定します。



* 無効にする



有効にする

追加コード UPC-A による読み取り専用

以下の設定コードを読み込んで、追加コード UPC-A のみを読み込むかどうかを設定します。



* 無効にする



有効にする

伝送方式キャラクタ「0」

UPC-A がシステムキャラクタを送信するかどうかを設定するには、次の設定コードを読み取ります。



無効にする



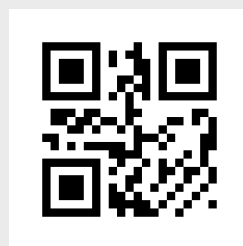
* 有効にする

国文字「0」を送信

UPC-E が各国文字「0」を送信するかどうかを設定するには、以下の設定コードを読み出します。(UPC-A を EAN-13 に変換するかどうかを設定します)



* 無効にする



有効にする

ITF25

ITF25 スイッチ

以下の設定コードを読み込んで、ITF25 バーコードの読み取りを有効/無効にします。



無効にする



*有効にする

ITF25 チェックデジット検証

以下の設定コードを読み出して、ITF25 チェックデジットの検証を行うかどうかを設定します。



* 無効にする



有効にする

ITF25 チェックデジット送信

以下の設定コードを読み出して、ITF25 チェックデジットを送信するかどうかを設定します。

注釈

チェックデジットの送信を有効にするには、まずチェックデジット検証機能を有効にしてください。



* 無効にする



有効にする

ITF25 の最小長さ

ITF25 の最小長を設定するには 2 つの方法があります。最初の方法では、ユーザーが QR コードを生成する必要があります。これは、より多くのユーザーが設定する傾向があり、より柔軟です。2 番目の方法は、手順に従って本書の設定コードをスキャンします。

方法 1:

ITF25 最小長設定コード内容形式: >!0000B3XX。XX は 0 ~ 255 の 10 進数の設定変数です。

たとえば、ITF25 の最小長が 2 に設定されている場合、設定コードの内容は >!0000B32 になります。

たとえば、ITF25 の最小長が 12 に設定されている場合、設定コードの内容は >!0000B312 になります。

方法 2:

「ITF25 最小長」設定コードをスキャンします。



ITF25 の最小長さ

「デジタルセットアップコード」をスキャンします。たとえば、最小長が 2 桁の場合は 2 をスキャンします。最小長が 12 桁の場合は、1、2 をスキャンします

「OK」設定コードを読み取って設定を終了します



もちろん

ITF25 最大長

ITF25 の最大長を設定するには 2 つの方法があります。方法 1 では、ユーザーが QR コードを生成する必要がありますが、これはより多くのユーザーが設定する傾向があり、より柔軟です。方法 2 では、手順に従って本書の設定コードを読み取ってください。

方法 1:

ITF25 最大長設定コード内容形式: >!0000B4XX。XX は設定変数で、10 進数の範囲は 0 ~ 255 です。

たとえば、ITF25 の最大長が 9 に設定されている場合、設定コードの内容は >!0000B49 になります。

たとえば、ITF25 の最大長が 20 に設定されている場合、設定コードの内容は >!0000B420 となります。

方法 2:

「ITF25 最大長」設定コードをスキャンします。



ITF25 最大長

「デジタルセットアップコード」をスキャンします。たとえば、最大長が 9 桁の場合は 9 をスキャンします。最大長が 20 桁の場合、2,0 をスキャンします

「OK」設定コードを読み取って設定を終了します



もちろん

ブラジル政府/銀行コード



* 無効にする



有効にする

NEC25/COOP25

NEC25 スイッチ

以下の設定コードを読み取って、NEC25 のバーコード読み取りを有効/無効にします。



* 無効にする



有効にする

NEC25 チェックデジット検証

以下の設定コードを読み出して、NEC25 チェックデジットの検証を行うかどうかを設定します。



* 無効にする



有効にする

NEC25 チェックディジット送信

以下の設定コードを読み出して、NEC25 チェックディジットを送信するかどうかを設定します。

注釈

チェックデジットの送信を有効にするには、まずチェックデジット検証機能を有効にしてください。



* 無効にする



有効にする

NEC25 最小長

NEC25 の最小長を設定するには 2 つの方法があります。最初の方法では、ユーザーが QR コードを生成する必要があります。これは、より多くのユーザーが設定する傾向があり、より柔軟です。2 番目の方法は、手順に従って本書の設定コードをスキャンします。

方法 1:

NEC25 最小長設定コードの内容形式: >!000103XX。XX は 0 ～255 の 10 進数の設定変数です。

たとえば、NEC25 の最小長が 2 に設定されている場合、設定コードの内容は >!0001032 になります。

たとえば、NEC25 の最小長が 12 に設定されている場合、設定コードの内容は >!00010312 になります。

方法 2:

「NEC25 最小長」設定コードをスキャンします。



NEC25 最小長

「デジタルセットアップコード」をスキャンします。たとえば、最小長が 2 桁の場合は 2 をスキャンします。最小長が 12 桁の場合は、1、2 をスキャンします

「OK」設定コードを読み取って設定を終了します



もちろん

NEC25 最大長

NEC25 の最大長を設定するには 2 つの方法があります。方法 1 では、ユーザーが QR コードを生成する必要がありますが、これはより多くのユーザーが設定する傾向があり、より柔軟です。方法 2 では、手順に従って本書の設定コードを読み取ってください。

方法 1:

NEC25 の最大長設定コードの内容形式: >!000104XX。XX は 0 ～255 の 10 進数の設定変数です。

例: NEC25 の最大長が 9 に設定されている場合、設定コードの内容は >!0001049 となります。

例: NEC25 の最大長が 20 に設定されている場合、設定コードの内容は >!00010420 となります。

方法 2:

「NEC25 最大長」設定コードをスキャンします。



NEC25 最大長

「デジタルセットアップコード」をスキャンします。たとえば、最大長が 9 桁の場合は 9 をスキャンします。最大長が 20 桁の場合、2,0 をスキャンします

「OK」設定コードを読み取って設定を終了します



もちろん

MATRIX25

マトリックス 25 スイッチ

MATRIX25 のバーコード読み取りを有効/無効にするには、以下の設定コードを読み取ります。



* 無効にする



有効にする

MATRIX25 チェックデジットの検証

以下の設定コードを読み出して、MATRIX25 のチェックデジットを検証するかどうかを設定します。



* 無効にする



有効にする

MATRIX25 チェックデジット送信

以下の設定コードを読み出して、MATRIX25 チェックデジットを送信するかどうかを設定します。

注釈

チェックデジットの送信を有効にするには、まずチェックデジット検証機能を有効にしてください。



* 無効にする



有効にする

MATRIX25 の最小長

MATRIX25 の最小長を設定するには2つの方法があります。方法1では、ユーザーがQRコードを生成する必要がありますが、これはより多くのユーザーが設定する傾向があり、より柔軟に使用できます。方法2では、手順に従って本書の設定コードを読み取ってください。

方法1:

MATRIX25 最小長設定コードの内容形式: >!000113XX。XX は設定変数で、10 進数の範囲は 0 ~ 255 です。

たとえば、MATRIX25 の最小長が 2 に設定されている場合、設定コードの内容は >!0001132 になります。

たとえば、MATRIX25 の最小長が 12 に設定されている場合、設定コードの内容は >!00011312 となります。

方法2:

「MATRIX25 最小長」設定コードをスキャンします。



MATRIX25 の最小長

「デジタルセットアップコード」をスキャンします。たとえば、最小長が 2 桁の場合は 2 をスキャンします。最小長が 12 桁の場合は、1、2 をスキャンします

「OK」設定コードを読み取って設定を終了します



もちろん

MATRIX25 の最大長

MATRIX25 の最大長を設定するには 2 つの方法があります。方法 1 では、ユーザーが QR コードを生成する必要がありますが、これはより多くのユーザーが設定する傾向があり、より柔軟です。方法 2 では、手順に従って本書の設定コードを読み取ってください。

方法 1:

MATRIX25 の最大長設定コードの内容形式: >!000114XX。XX は設定変数で、10 進数の範囲は 0 ~ 255 です。

たとえば、MATRIX25 の最大長が 9 に設定されている場合、設定コードの内容は >!0001149 となります。

たとえば、MATRIX25 の最大長が 20 に設定されている場合、設定コードの内容は >!00011420 となります。

方法 2:

「MATRIX25 最大長」設定コードをスキャンします。



MATRIX25 の最大長

「デジタルセットアップコード」をスキャンします。たとえば、最大長が 9 桁の場合は 9 をスキャンします。最大長が 20 桁の場合、2,0 をスキャンします

「OK」設定コードを読み取って設定を終了します



もちろん

IND25

IND25 スイッチ

以下の設定コードを読み込むことで、IND25 バーコードの読み取りを有効/無効にできます。



* 無効にする



有効にする

IND25 の最小長さ

IND25 の最小長を設定するには 2 つの方法があります。方法 1 では、ユーザーが QR コードを生成する必要がありますが、これはより多くのユーザーが設定する傾向があり、より柔軟です。方法 2 では、手順に従って本書の設定コードを読み取ってください。

方法 1:

IND25 最小長設定コードの内容形式: >!000123XX。XX は 0 ~ 255 の 10 進数の設定変数です。

たとえば、IND25 の最小長が 2 に設定されている場合、設定コードの内容は >!0001232 になります。

たとえば、IND25 の最小長が 12 に設定されている場合、設定コードの内容は >!00012312 になります。

方法 2:

「IND25 最小長」設定コードをスキャンします。



IND25 の最小長さ

「デジタルセットアップコード」をスキャンします。たとえば、最小長が 2 桁の場合は 2 をスキャンします。最小長が 12 桁の場合は、1、2 をスキャンします

「OK」設定コードを読み取って設定を終了します



もちろん

IND25 の最大長

IND25 の最大長を設定するには 2 つの方法があります。方法 1 では、ユーザーが QR コードを生成する必要がありますが、これはより多くのユーザーが設定する傾向があり、より柔軟に使用できます。方法 2 では、手順に従って本書の設定コードを読み取ってください。

方法 1:

IND25 最大長設定コード内容形式: >!000124XX。XX は設定変数で、10 進数の範囲は 0 ～ 255 です。

たとえば、IND25 の最大長が 9 に設定されている場合、設定コードの内容は >!0001249 となります。

たとえば、IND25 の最大長が 20 に設定されている場合、設定コードの内容は >!00012420 となります。

方法 2:

「IND25 最大長」設定コードをスキャンします。



IND25 の最大長

「デジタルセットアップコード」をスキャンします。たとえば、最大長が 9 桁の場合は 9 をスキャンします。最大長が 20 桁の場合、2,0 をスキャンします

「OK」設定コードを読み取って設定を終了します

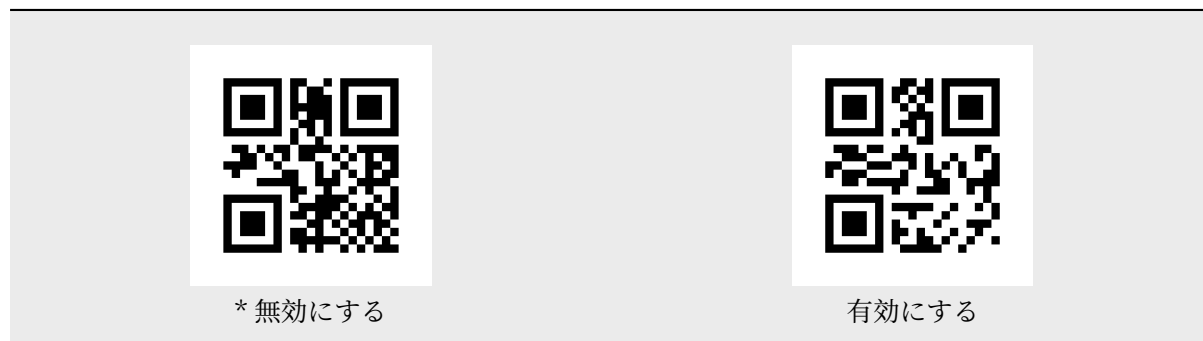


もちろん

STD25

STD25 スイッチ

STD25 バーコード読み取りを有効/無効にするには、以下の設定コードを読み出します。



STD25 最小長さ

STD25 の最小長を設定するには 2 つの方法があります。最初の方法では、ユーザーが QR コードを生成する必要があります。これは、より多くのユーザーが設定する傾向があり、より柔軟です。2 番目の方法は、手順に従って本書の設定コードをスキャンします。

方法 1:

STD25 最小長設定コード内容形式: >!000133XX。XX は 0 ~ 255 の 10 進数の設定変数です。

例: STD25 の最小長が 2 に設定されている場合、設定コードの内容は >!0001332 となります。

例: STD25 の最小長が 12 に設定されている場合、設定コードの内容は >!00013312 となります。

方法 2:

「STD25 最小長」設定コードをスキャンします。



STD25 最小長さ

「デジタルセットアップコード」をスキャンします。たとえば、最小長が 2 桁の場合は 2 をスキャンします。最小長が 12 桁の場合は、1、2 をスキャンします

「OK」設定コードを読み取って設定を終了します



もちろん

STD25 最大長

STD25 の最大長を設定するには 2 つの方法があります。最初の方法では、ユーザーが QR コードを生成する必要があります。これは、より多くのユーザーが設定する傾向があり、より柔軟です。2 番目の方法は、手順に従って本書の設定コードをスキャンします。

方法 1:

STD25 最大長設定コード内容形式: >!000134XX。XX は 0 ~ 255 の 10 進数の設定変数です。

例: STD25 の最大長が 9 に設定されている場合、設定コードの内容は >!0001349 となります。

例: STD25 の最大長が 20 に設定されている場合、設定コードの内容は >!00013420 となります。

方法 2:

「STD25 最大長」設定コードをスキャンします。



STD25 最大長

「デジタルセットアップコード」をスキャンします。たとえば、最大長が 9 桁の場合は 9 をスキャンします。最大長が 20 桁の場合、2,0 をスキャンします

「OK」設定コードを読み取って設定を終了します

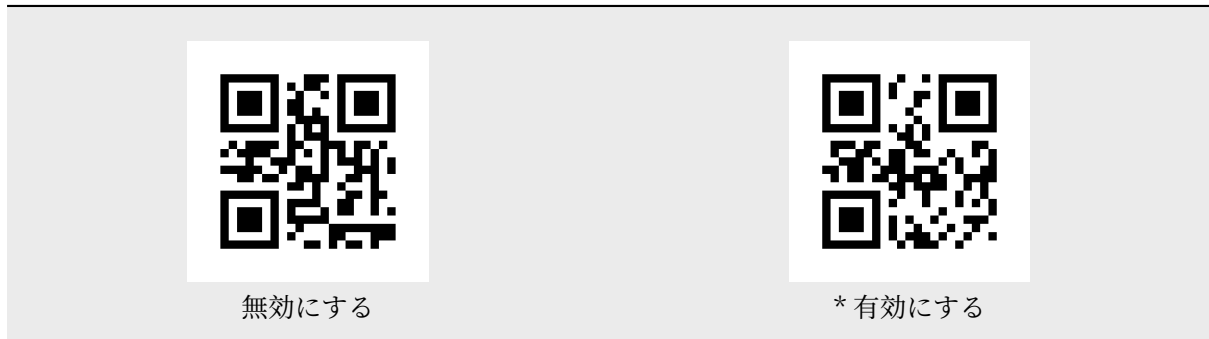


もちろん

Code 39

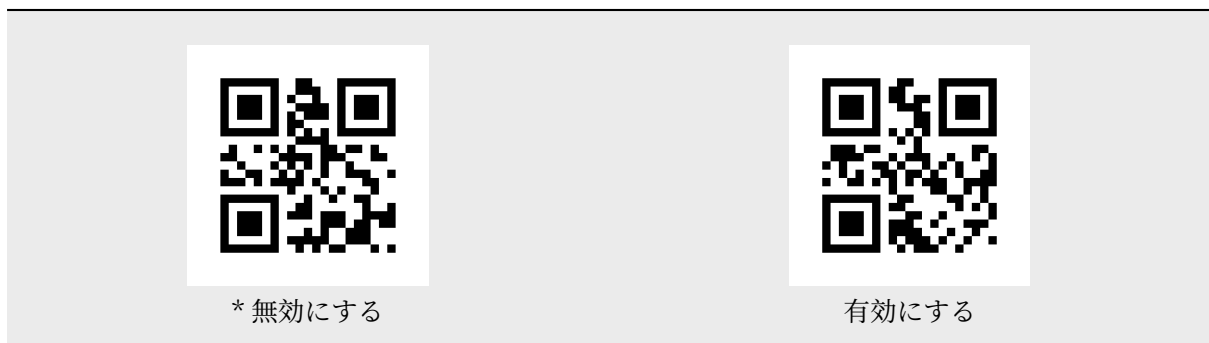
Code 39 スイッチ

以下の設定コードを読み取って、Code 39 バーコードの読み取りを有効/無効にします。



Code 39 チェックデジットの検証

以下の設定コードを読み出して、Code 39 チェックデジットを検証するかどうかを設定します。



Code 39 チェックデジットの送信

以下の設定コードを読み出して、Code 39 チェックデジットを送信するかどうかを設定します。

注釈

チェックデジットの送信を有効にするには、まずチェックデジット検証機能を有効にしてください。



* 無効にする



有効にする

Code 39 スタートキャラクタ/エンドキャラクタの送信

以下の設定コードを読み込んで、Code 39 開始キャラクタ/終了キャラクタを送信するかどうかを設定します。



* 無効にする



有効にする

Code 39 フル ASCII スイッチ

以下の設定コードを読み取って、Code 39 FULL ASCII バーコードの読み取りを有効または無効にします。



* 無効にする



有効にする

Code 39 最小長

Code 39 の最小長を設定するには 2 つの方法があります。方法 1 では、ユーザーが QR コードを生成する必要がありますが、これはより多くのユーザーが設定する傾向があり、より柔軟です。方法 2 では、手順に従って本書の設定コードを読み取ってください。

方法 1:

Code 39 設定コード内容の最小長の形式: >!000145XX。XX は 0 ～255 の 10 進数の設定変数です。

例: Code 39、最小長が 2 に設定されている場合、設定コードの内容は次のようになります: >!0001452。

例: Code 39、最小長が 12 に設定されている場合、設定コードの内容は次のようになります: >!00014512。

方法 2:

「Code 39 最小長」設定コードをスキャンします。



Code 39 最小長

「デジタルセットアップコード」をスキャンします。たとえば、最小長が 2 桁の場合は 2 をスキャンします。最小長が 12 桁の場合は、1、2 をスキャンします

「OK」設定コードを読み取って設定を終了します



もちろん

Code 39 最大長

Code 39 の最大長を設定するには 2 つの方法があります。方法 1 では、ユーザーが QR コードを生成する必要がありますが、これはより多くのユーザーが設定する傾向があり、より柔軟です。方法 2 では、手順に従って本書の設定コードを読み取ってください。

方法 1:

Code 39 設定コードの内容の最大長の形式: >!000146XX。XX は 0 ～255 の 10 進数の設定変数です。

例: Code 39 最大長が 9 に設定されている場合、設定コードの内容は次のようになります: >!0001469。

例: Code 39 最大長が 20 に設定されている場合、設定コードの内容は次のようになります:
>!00014620。

方法 2:

「Code 39 最大長」設定コードをスキャンします。



Code 39 最大長

「デジタルセットアップコード」をスキャンします。たとえば、最大長が 9 桁の場合は 9 をスキャンします。最大長が 20 桁の場合、2,0 をスキャンします

「OK」設定コードを読み取って設定を終了します



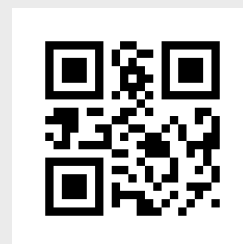
もちろん

コード 32 スイッチ

次の設定コードを読み取って、Code 39 の有効/無効を Code 32 設定に変換します。



* 無効にする



有効にする

コード 32 プレフィックス

以下の設定コードを読み取って、Code 32 プレフィックスを送信するかどうかを設定します。



* 無効にする



有効にする

Code 32 チェックディジットの検証

以下の設定コードを読み取って、Code32 チェックデジットを検証するかどうかを設定します。



* 無効にする



有効にする

Code 32 チェックディジットの送信

以下の設定コードを読み出して、Code32 チェックデジットを送信するかどうかを設定します。

注釈

チェックデジットの送信を有効にするには、まずチェックデジット検証機能を有効にしてください。



* 無効にする



有効にする

Codabar

コーダバースイッチ

以下の設定コードを読み取って、Codabar バーコードの読み取りを有効または無効にします。



* 無効にする



有効にする

Codabar チェックデジットの検証

以下の設定コードを読み出して、Codabar チェックデジットの検証を行うかどうかを設定します。



* 無効にする



有効にする

Codabar チェックディジットの送信

以下の設定コードを読み出して、Codabar チェックディジットを送信するかどうかを設定します。

注釈

チェックデジットの送信を有効にするには、まずチェックデジット検証機能を有効にしてください。



* 無効にする



有効にする

Codabar スタートキャラクタ/エンドキャラクタ送信

以下の設定コードを読み出して、Codabar のスタートキャラクタ/エンドキャラクタを送信するかどうかを設定します。



無効にする



* 有効にする

Codabar の開始文字/終了文字の形式

以下の設定コードを読み込んで、Codabar の開始文字/終了文字の形式を設定します。



* 通常の ABCD 形式



ABCD/TN*E 形式

Codabar の開始文字/終了文字の大文字と小文字の区別

以下の設定コードを読み込んで、Codabar の開始文字/終了文字を大文字にするか小文字にするかを設定します。



コーダバーの最小長

Codabar の最小長を設定するには 2 つの方法があります。最初の方法では、ユーザーが QR コードを生成する必要があります。これは、より多くのユーザーが設定する傾向があり、より柔軟です。2 番目の方法は、手順に従って本書の設定コードをスキャンします。

方法 1:

Codabar の最小長設定コードの内容形式: >!000156XX。XX は設定変数で、10 進数の範囲は 0 ~ 255 です。

たとえば、Codabar の最小長が 2 に設定されている場合、設定コードの内容は >!0001562 になります。

たとえば、Codabar の最小長が 12 に設定されている場合、設定コードの内容は >!00015612 になります。

方法 2:

「Codabar Minimum Length」設定コードをスキャンします。



コーダバーの最小長

「デジタルセットアップコード」をスキャンします。たとえば、最小長が 2 桁の場合は 2 をスキャンします。最小長が 12 桁の場合は、1、2 をスキャンします

「OK」設定コードを読み取って設定を終了します



もちろん

コーダバーの最大長

Codabar の最大長を設定するには 2 つの方法があります。方法 1 では、ユーザーが QR コードを生成する必要がありますが、これはより多くのユーザーにとってより柔軟です。方法 2 では、手順に従って本書の設定コードを読み取ってください。

方法 1:

Codabar 最大長設定コードの内容形式: >!000157XX。XX は設定変数で、10 進数の範囲は 0 ~255 です。

たとえば、Codabar の最大長が 9 に設定されている場合、設定コードの内容は >!0001579 になります。

たとえば、Codabar の最大長が 20 に設定されている場合、設定コードの内容は >!00015720 となります。

方法 2:

「Codabar 最大長」設定コードをスキャンします。



コーダバーの最大長

「デジタルセットアップコード」をスキャンします。たとえば、最大長が 9 桁の場合は 9 をスキャンします。最大長が 20 桁の場合、2,0 をスキャンします

「OK」設定コードを読み取って設定を終了します

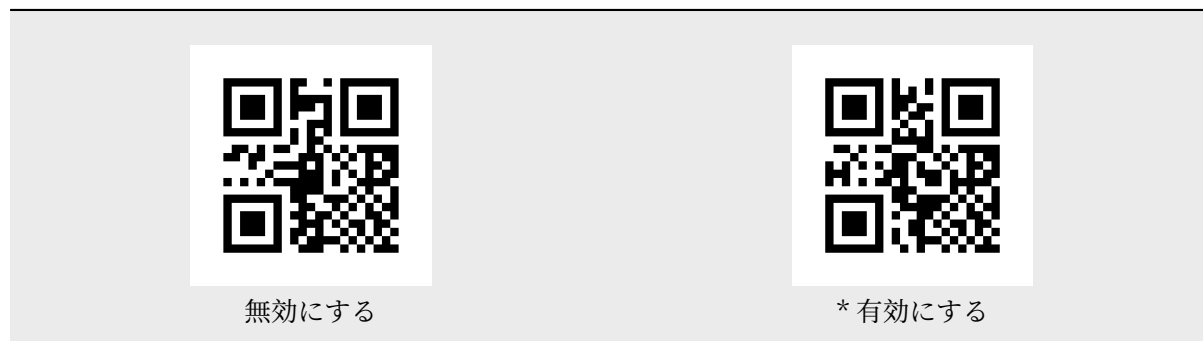


もちろん

Code 93

コード 93 スイッチ

以下の設定コードを読み取って、Code 93 バーコードの読み取りを有効または無効にします。



コード 93 の最小長

Code 93 の最小長を設定するには 2 つの方法があります。最初の方法では、ユーザーが QR コードを生成する必要があります。この方法は、より多くのユーザーが設定する傾向があり、より柔軟です。2 番目の方法は、手順に従って本書の設定コードをスキャンします。

方法 1:

コード 93 設定コードの内容の最小長の形式: >!000163XX。XX は設定変数で、10 進数の範囲は 0 ~ 255 です。

例: コード 93 の最小長が 2 に設定されている場合、設定コードの内容は次のようになります: >!0001632。

例: コード 93 の最小長が 12 に設定されている場合、設定コードの内容は次のようになります: >!00016312。

方法 2:

「Code 93 Minimum Length」設定コードをスキャンします。



コード 93 の最小長

「デジタルセットアップコード」をスキャンします。たとえば、最小長が 2 桁の場合は 2 をスキャンします。最小長が 12 桁の場合は、1、2 をスキャンします

「OK」設定コードを読み取って設定を終了します



もちろん

コード 93 の最大長

Code 93 の最大長を設定するには 2 つの方法があります。方法 1 では、ユーザーが QR コードを生成する必要があります。これは、より多くのユーザーにとってより柔軟です。方法 2 では、手順に従って本書の設定コードを読み取ってください。

方法 1:

コード 93 の最大長設定コードの内容形式: >!000164XX。XX は設定変数で、10 進数の範囲は 0 ~255 です。

例: コード 93 の最大長が 9 に設定されている場合、設定コードの内容は次のようになります: >!0001649。

たとえば、Code 93 の最大長が 20 に設定されている場合、設定コードの内容は >!00016420 となります。

方法 2:

「Code 93 最大長」設定コードをスキャンします。



コード 93 の最大長

「デジタルセットアップコード」をスキャンします。たとえば、最大長が 9 桁の場合は 9 をスキャンします。最大長が 20 桁の場合、2,0 をスキャンします

「OK」設定コードを読み取って設定を終了します



もちろん

Code 11

コード 11 スイッチ

以下の設定コードを読み取って、Code 11 バーコードの読み取りを有効または無効にします。



* 無効にする



有効にする

コード 11 チェックディジットの検証

以下の設定コードを読み出して、コード 11 のチェックディジットを検証するかどうかを設定します。



* 検証なし



1 ビットチェックサム



2 桁のチェックサム

Code 11 チェックディジットの送信

以下の設定コードを読み出して、Code11 チェックディジットを送信するかどうかを設定します。

注釈

チェックディジットの送信を有効にするには、まずチェックディジット検証機能を有効にしてください。



* 無効にする



有効にする

コード 11 の最小長

コード 11 の最小長を設定するには 2 つの方法があります。最初の方法では、ユーザーが QR コードを生成する必要があります。この方法は、より多くのユーザーが設定する傾向があり、より柔軟です。2 番目の方法は、手順に従って本書の設定コードをスキャンします。

方法 1:

コード 11 設定コードの内容の最小長の形式: >!000173XX。XX は 0 ~255 の 10 進数の設定変数です。

たとえば、コード 11 の最小長が 2 に設定されている場合、設定コードの内容は >!0001732 になります。

たとえば、コード 11 の最小長が 12 に設定されている場合、設定コードの内容は >!00017312 になります。

方法 2:

「コード 11 最小長」設定コードをスキャンします。



コード 11 の最小長

「デジタルセットアップコード」をスキャンします。たとえば、最小長が 2 桁の場合は 2 をスキャンします。最小長が 12 桁の場合は、1、2 をスキャンします

「OK」設定コードを読み取って設定を終了します



もちろん

コード 11 の最大長

コード 11 の最大長を設定するには 2 つの方法があります。最初の方法では、ユーザーが QR コードを生成する必要があります。この方法は、より多くのユーザーが設定する傾向があり、より柔軟です。2 番目の方法は、手順に従って本書の設定コードをスキャンします。

方法 1:

コード 11 最大長設定コードの内容形式: >!000174XX。XX は 0 ～255 の 10 進数の設定変数です。

たとえば、コード 11 の最大長が 9 に設定されている場合、設定コードの内容は >!0001749 となります。

たとえば、コード 11 の最大長が 20 に設定されている場合、設定コードの内容は >!00017420 となります。

方法 2:

「コード 11 最大長」設定コードをスキャンします。



コード 11 の最大長

「デジタルセットアップコード」をスキャンします。たとえば、最大長が 9 桁の場合は 9 をスキャンします。最大長が 20 桁の場合、2,0 をスキャンします

「OK」設定コードを読み取って設定を終了します



もちろん

MSI Plessey

MSI プレッシースイッチ

MSI Plessey バーコード読み取りを有効または無効にするには、次の設定コードを読み取ります。



* 無効にする



有効にする

MSI Plessey チェックデジット検証

以下の設定コードを読み取って、MSI Plessey チェックデジットを検証するかどうかを設定します。



* MOD10 単一文字チェック



MOD10/MOD10 二重文字チェック



MOD10/MOD11 二重文字チェック

MSI Plessey チェックデジット送信

MSI Plessey チェックデジットを送信するかどうかを設定するには、以下の設定コードを読み取ります。

注釈

チェックデジットの送信を有効にするには、まずチェックデジット検証機能を有効にしてください。



* 無効にする



有効にする

MSI プレッシーの最小長さ

MSI Plessey の最小長を設定するには 2 つの方法があります。最初の方法では、ユーザーが QR コードを生成する必要があります。これは、より多くのユーザーが設定する傾向があり、より柔軟です。2 番目の方法は、手順に従って本書の設定コードをスキャンします。

方法 1:

MSI Plessey の最小長設定コードの内容形式: >!000193XX。XX は設定変数で、10 進数の範囲は 0 ~ 255 です。

例: MSI Plessey の最小長が 2 に設定されている場合、設定コードの内容は次のようになります: >!0001932。

例: MSI Plessey の最小長が 12 に設定されている場合、設定コードの内容は次のようになります: >!00019312。

方法 2:

「MSI Plessey Minimum Length」セッアップコードをスキャンします。



MSI プレッシーの最小長さ

「デジタルセッアップコード」をスキャンします。たとえば、最小長が 2 桁の場合は 2 をスキャンします。最小長が 12 桁の場合は、1、2 をスキャンします

「OK」設定コードを読み取って設定を終了します



もちろん

MSI プレッシーの最大長さ

MSI Plessey の最大長を設定するには 2 つの方法があります。最初の方法では、ユーザーが QR コードを生成する必要があります。これは、より多くのユーザーが設定する傾向があり、より柔軟です。2 番目の方法は、手順に従って本書の設定コードをスキャンします。

方法 1:

MSI Plessey の最大長設定コードの内容形式: >!000194XX。XX は設定変数で、10 進数の範囲は 0 ~255 です。

たとえば、MSI Plessey の最大長が 9 に設定されている場合、設定コードの内容は >!0001949 になります。

たとえば、MSI Plessey の最大長が 20 に設定されている場合、設定コードの内容は >!00019420 となります。

方法 2:

「MSI Plessey 最大長」セットアップコードをスキャンします。



MSI プレッシーの最大長さ

「デジタルセットアップコード」をスキャンします。たとえば、最大長が 9 桁の場合は 9 をスキャンします。最大長が 20 桁の場合、2,0 をスキャンします

「OK」設定コードを読み取って設定を終了します



もちろん

GS1 DataBar/RSS

以下の設定コードを読み取って、GS1 DataBar バーコードの読み取りを有効または無効にします。



* 無効にする



有効にする

Composite Code

以下の設定コードを読み取って、複合コードバーコードの読み取りを有効/無効にします。

注釈

複合コードを有効にするには、まず別の対応するコードを有効にしてください。



* 無効にする



有効にする

TELEPEN

TELEPEN バーコード読み取りの有効 / 無効を設定するには、以下の設定コードを読み取ります。



* 無効にする



有効にする

TRIOPTIC

以下の設定コードを読み取って、TRIOPTIC バーコード読み取りを有効 / 無効にします。



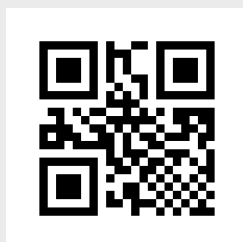
* 無効にする



有効にする

HONG KONG 2 OF 5/CHINA POST

以下の設定コードを読み取って、HONG KONG 2 of 5 バーコードの読み取りを有効または無効にします。



* 無効にする



有効にする

韓国郵便/韓国郵便

以下の設定コードを読み取って、KOREA POST/Korea Post バーコードの読み取りを有効/無効にします。バーコードの長さは6バイトである必要があります。



* 無効にする



有効にする

韓国郵便チェックデジット送信

以下の設定コードを読み出して、KOREA POST チェックデジットを送信するかどうかを設定します。



* 無効にする



有効にする

韓国郵便のデータが逆転



* 無効にする



有効にする

PDF417

PDF417 スイッチ

以下の設定コードを読み取って、PDF417 バーコードの読み取りを有効/無効にします。



無効にする



* 有効にする

PDF417 順方向および逆方向の識別

以下の設定コードを読み出して、正逆 PDF417 コードを読み込めるかどうかを設定します。



* ポジティブカラーのみを読み取ります



読み取り専用反転カラー



ポジカラーでもネガカラーでも読み取り可能

QR Code

QR スイッチ

以下の設定コードを読み取って、QR バーコードの読み取りを有効/無効にします。



無効にする



* 有効にする

QR Code ポジティブおよびネガティブカラー読み取り

以下の設定コードを読み出して、正色/逆色 QR Code を読み込めるかどうかを設定します。



* ポジティブカラーのみを読み取ります



読み取り専用反転カラー



ポジカラーでもネガカラーでも読み取り可能



通常色（カラーコードを反転）のみ読み取ります。

QR Code ミラー読み取り

次の設定コードを読んで、イメージ QR Code を読み取れるかどうかを設定します。



無効にする



* 有効にする

Data Matrix (DM)

Data Matrix スイッチ

以下の設定コードを読み取って、Data Matrix バーコードの読み取りを有効/無効にします。



無効にする



* 有効にする

Data Matrix ポジティブおよびネガティブカラー読み取り

以下の設定コードを読み出して、プラス/リバーズカラーの Data Matrix コードを読み取れるかどうかを設定します。



* ポジティブカラーのみを読み取ります



読み取り専用反転カラー



ポジカラーでもネガカラーでも読み取り可能

Data Matrix ミラー読み取り

以下の設定コードを読み込んで画像の Data Matrix コードを読み込めるかどうかを設定します



* 無効にする



有効にする

DM ECI 制御



* 無効にする



有効にする

Aztec Code

AZTEC CODE バーコードの読み取りを有効/無効にするには、以下の設定コードを読み取ります。



* 無効にする



有効にする

11.5 エンジンセッティングコード

デジタル設定コード

付録には 0 ～9 の数字が含まれています。文字 A～F。キャンセル; セットアップコードを確認します。



0



1



2



3



4



5



6



7



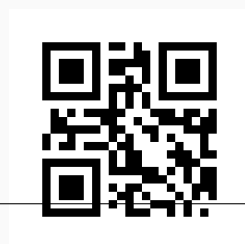
8



9



A



B

12 付録

12.1 文字検索テーブル

ASCII ファンクションキー文字比較表

00H-0FH

HEX	CODE	* 構成 0	Config3	Config1	Config4	Config2 Windows	Config5 Windows
00H	NUL	NUL	NUL	Ctrl+@	Ctrl+@	ALT+000	ALT+000
01H	SOH	NUL	NUL	Ctrl+A	Ctrl+A	ALT+001	ALT+001
02H	STX	NUL	NUL	Ctrl+B	Ctrl+B	ALT+002	ALT+002
03H	ETX	NUL	NUL	Ctrl+C	Ctrl+C	ALT+003	ALT+003
04H	EOT	NUL	NUL	Ctrl+D	Ctrl+D	ALT+004	ALT+004
05H	ENQ	NUL	NUL	Ctrl+E	Ctrl+E	ALT+005	ALT+005
06H	ACK	NUL	NUL	Ctrl+F	Ctrl+F	ALT+006	ALT+006
07H	BEL	NUL	NUL	Ctrl+G	Ctrl+G	ALT+007	ALT+007
08H	BS	Backspace	Backspace	Ctrl+H	Ctrl+H	ALT+008	ALT+008
09H	HT	TAB	TAB	TAB	Ctrl+I	ALT+009	ALT+009
0AH	LF	NUL	Enter	Ctrl+J	Ctrl+J	ALT+010	ALT+010
0BH	VT	TAB	TAB	Ctrl+K	Ctrl+K	ALT+011	ALT+011
0CH	FF	NUL	NUL	Ctrl+L	Ctrl+L	ALT+012	ALT+012
0DH	CR	Enter	Enter	Enter	Ctrl+M	Enter	ALT+013
0EH	SO	NUL	NUL	Ctrl+N	Ctrl+N	ALT+014	ALT+014
0FH	SI	NUL	NUL	Ctrl+O	Ctrl+O	ALT+015	ALT+015

10H-1FH

HEX	CODE	* 構成 0/3	Config1/4	Config2/5 Windows
10H	DLE	NUL	Ctrl+P	ALT+016
11H	DC1	NUL	Ctrl+Q	ALT+017
12H	DC2	NUL	Ctrl+R	ALT+018
13H	DC3	NUL	Ctrl+S	ALT+019
14H	DC4	NUL	Ctrl+T	ALT+020
15H	NAK	NUL	Ctrl+U	ALT+021
16H	SYN	NUL	Ctrl+V	ALT+022
17H	ETB	NUL	Ctrl+W	ALT+023
18H	CAN	NUL	Ctrl+X	ALT+024
19H	EM	NUL	Ctrl+Y	ALT+025
1AH	SUB	NUL	Ctrl+Z	ALT+026
1BH	ESC	ESC	Ctrl+[	ALT+027
1CH	FS	NUL	Ctrl+\	ALT+028
1DH	GS	NUL	Ctrl+]	ALT+029
1EH	RS	NUL	Ctrl+^	ALT+030
1FH	US	NUL	Ctrl+-	ALT+031

注釈

Mac システムでは、Ctrl キーは Command キーに対応します。

ASCII 文字比較表

20H-5FH

HEX	ASCII	HEX	ASCII	HEX	ASCII	HEX	ASCII
20H	Space	30H	0	40H	@	50H	P
21H	!	31H	1	41H	A	51H	Q
22H	"	32H	2	42H	B	52H	R
23H	#	33H	3	43H	C	53H	S
24H	\$	34H	4	44H	D	54H	T
25H	%	35H	5	45H	E	55H	U
26H	&	36H	6	46H	F	56H	V
27H	'	37H	7	47H	G	57H	W
28H	(	38H	8	48H	H	58H	X
29H	)	39H	9	49H	I	59H	Y
2AH	*	3AH	:	4AH	J	5AH	Z
2BH	+	3BH	;	4BH	K	5BH	[
2CH	,	3CH	<	4CH	L	5CH	\
2DH	-	3DH	=	4DH	M	5DH	]
2EH	.	3EH	>	4EH	N	5EH	^
2FH	/	3FH	?	4FH	O	5FH	_

60H-9DH

HEX	ASCII	HEX	ASCII	HEX	Fun Key	HEX	Fun Key
60H	`	70H	p	80H	F1	90H	End
61H	a	71H	q	81H	F2	91H	Page Down
62H	b	72H	r	82H	F3	92H	Right Arrow
63H	c	73H	s	83H	F4	93H	Left Arrow
64H	d	74H	t	84H	F5	94H	Down Arrow
65H	e	75H	u	85H	F6	95H	Up Arrow
66H	f	76H	v	86H	F7	96H	Print Screen
67H	g	77H	w	87H	F8	97H	*Ctrl
68H	h	78H	x	88H	F9	98H	* シフト
69H	i	79H	y	89H	F10	99H	* 左 Alt
6AH	j	7AH	z	8AH	F11	9AH	* 右 Alt
6BH	k	7BH	{	8BH	F12	9BH	1s Delay
6CH	l	7CH		8CH	Insert	9CH	*Win-GUI
6DH	m	7DH	}	8DH	Home	9DH	* キーストローク
6EH	n	7EH	~	8EH	Page Up		
6FH	o	7FH	DEL	8FH	Delete		

 注釈

Ctrl、Shift、Alt、GUI をプレフィックスまたはサフィックスとして設定すると、次の文字と組み合わせて出力されます (ALT、TH キーボードに設定した場合はサポートされません)。キーストローク後の文字がそのままキー値として出力されます。